

ちよつといい話

12



瑞浪市

『ちよつといい話』を手にしてくださいました皆さんへ

『ちよつといい話』は、皆さんが日々の生活の中で見たり聞いたり体験した、心が温かくなる出来事を取りまとめた小冊子です。

『ちよつといい話』の募集を始めて12年目となりました。今年度は、1,309人の方からご応募いただきました。これまでに、延べ10,663人の方にご応募いただいております。ページの都合上、すべてのお話を紹介することはできませんでしたが、お話を寄寄せいただきました皆様に深く感謝します。

毎日の生活の中で、皆さんが感じた嬉しい気持ちや、感心したり、勇気をもらったりした出来事など、自分の心にしまっておくだけではもったいないような心の温かくなる話のおすそわけとなっています。

この冊子を手にしていただいたあなたにも、毎日の生活の中で、人と人とのつながりを思い返すきっかけになれば幸いです。

# も く じ



◆ 一般編 ……………	◆ 高校編 ……………	◆ 中学校編 ……………	◆ 小学校編 ……………
101	87	47	1

## 〈 表紙 コンセプト 〉

自分のしたことが人の心を温かくしていたり  
誰かのしたことで自分の心が温かくなったり  
人と人は繋がっていること  
を表現するためにハート（人の心）を中心に  
いろんな町の様子が広がっていて  
それが“光”という漢字に見えるように  
描きました。

人の心を明るくする出来事が  
町に溢れかえってほしいです。

【表紙のイラスト】 小林ゆずなさん

# 小学校編



✿ あいさつでニコニコ笑顔……………	1
✿ 家族っていいな……………	5
✿ 友だちっていいな……………	19
✿ クラブ・習い事……………	27
✿ 先生ありがとう……………	33
✿ 地域の人とのつながり……………	35
✿ うれしい出来事……………	39



## あいつとあいつの笑顔

▽わたしが小学1年生のとき、地いきの人に、あいつができませんでした。でも2年生のときに先生が「友だちだけではなくて地いきのみなさんにもあいつをしましょう」と言いました。なので、その日の学校帰りに「こんにちは」と言いました。すると地いきの人も「こんにちは」と言ってくれました。わたしは地いきの人が言った「こんにちは」で心がとつてもきもちよくなりました。なので、わたしは今もあいつをしています。

小3



小3

▽ぼくは、分団のはん長になって、分団の人はいい子だなと思いはじめてきました。ぼくが、地いきの人にあいつをすると、分団の子たちが、大きく元気な声であいつをしています。だから「明日、まけられない」と思っであいつをしています。

小6

▽いつも、学校の入り口に先生がいます。ぼくは、元気よく「おはようございます」と大きなあいつをしました。2年生のとき、校長先生に「あいつがすばらしい」と言ってもらえてうれしかったです。ぼくは、もっといっぱいあいつしたくなりました。これからも大きなあいつをいっぱいしたいです。

小3

▽ぼくが、学校に行く途中、毎日「おはようございます」とあいさつをする人がいます。それは学校の下のしん号の所に立ってくれるおじさんです。どんなときも「おはよう」と言ってくれるのでうれしくなるし、今日もがんばろうという気もちになります。それに、ぼくたちが安全にわたれるように見守ってくれるから安心です。これからも大きな声で「おはようございます」とあいさつをしたいです。

小3

▽ぼくは、はずかしくてあいさつができないじきがありました。それなのに、きんじよの人たちは、あうとかならずえがおでぼくにあいさつをして、たくさんはなしかけてくれました。それがとてもあたたかくて、ぼくもすこしずつあいさつができるようになりました。あいさつするいみをおしえてくれたちいきの人たちにかんしゃしています。ありがとうございます。

小1

▽「おはようございます」私は、朝、学校のろうかですれちがった子に言った。でも、その子は私のあいさつを無視した。知らない人でもあいさつを返してくれないと少し残念な気持ちになるので、私は続けてあいさつをした。「おはようございます」すると「おはようございます！」あいさつが返ってきた。私は、とてもうれしくてニコニコになった。やっぱりあいさつは大切なんだなど改めて思った。

小6



小6



▽ぼくは、知らない人でも、会ったらきちんとあいさつをします。近所のおばあさんにも毎日あいさつをします。ある時、ぼくは、お父さんと買い物から帰って来た時に、そのおばあさんから「いつもあいさつできてすごいね」とほめられました。そして、とても高級ないちごのフルーツサンドをプレゼントされました。ふつうにあいさつをしていただけなのに、ぼくの大好きないちごが入ったサンドウィッチをもらえてとてもうれしかったです。

小6

▽ぼくが1年生の時「おはようおじさん」という人がいました。いつも7時15分ごろから「おっはよー」と元気な声であいさつしてくれました。そのおかげでいつも元気に、学校に登校できました。いつもはたを持って、ぼくたちが見えたらあいさつをしてくれるし「おはようじゃんけん」というじゃんけんもしてくれて楽しかったです。6年生になった今はあえていないけど、とってもうれしくてわすれられないことです。

小6

▽朝、教室に入るとき、名前をよんであいさつをしてくれるのでうれしいです。わたしも、先生や、友だちにあったときは、名前をよんであいさつをしたいと思います。

小3



小3



▽ぼくは、あらためて、あいさつは良いなと思いました。ぼくの親戚にとっても元気なおじいさんがいます。そのおじいさんは、朝、ぼくがバスを待っている時に、元気よく「おはよう」と言ってくれます。そのおかげで、とても元気になります。そして、ぼくは、朝からとても良い気持ちになります。しかも、ぼくは良い所を知れました。それは、あいさつは人を元気に出来るんだということ。ぼくも人を元気にするあいさつをしたいなと思いました。

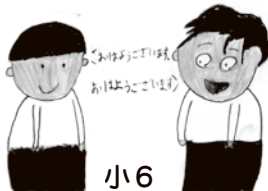
小5

▽ぼくは、1年生のころから地いきの人にあいさつをしています。だけど半分以上の人はあいさつを返してくれませんでした。だけど、最近、いつも2年生の子のおじいちゃんや、下校の時に必ず大きな声で「おかえりー」と言ってくれます。ぼくは言われた時に、すぐうれしかったです。相手からあいさつをされるのは、こんなにうれしいんだと思いました。なので、これからも会った人には、自分から、大きな声であいさつをしたいです。

小5

▽ぼくの学校は、あいさつ自まんの学校です。毎日登校する時に、みんなが先生や友達にあいさつをするすがたがたくさん見られます。ぼくも負けずにあいさつをしています。あいさつをすると、とてもいい気持ちになるので、この学校にいられてうれしいです。これからもあいさつをしていきたいです。

小6



小6

## ☆家族っていいな

▽わたしのおとうさんは、いつもおしごとでかえってくるのがとてもおそいので、わたしはねていてあまりあえません。さみしいです。ある日、おとうさんへてがみをかいて、ドアにはつておきました。つぎの日みてみると、へんじがかいてあつてうれしくなりました。おとうさんもうれしかったそうです。

小1

▽ぼくは、夏休みの間、毎朝お父さんと外でサッカーの練習をしました。ゆめは強いサッカーせんしゅになることなので、あつい日がつづくけど、がんばってボールをけています。しあいのとき、お父さんのおしえてくれたわざを使つてみて相手を一人ぬけたのですごくうれしかったです。毎日れんしゅうをみまもつてくれるお父さんに「ありがとう」とつたえたいです。お父さん、いつもれんしゅうを見てくれてありがとう。

小3

▽ぼくは、久しぶりに勉強ができることのすばらしさを知りました。ぼくが勉強をするのをめんどくさがっている時、お父さんが「どうして勉強をしなければいけないのか」を教えてくださいました。それは、まずしい人や、戦争のひがいにあった人を少しでも助けられるように知識をつけるためだそうです。なので、ぼくは、たくさん勉強し、人の手助けができるようになります。

小6

▽学校のほうし作業で、みつになるからと、お父さんは自分たちの分団場所をきれいにしてくれました。今はみつにならないようにいろいろ工夫しています。その工夫が分団場所と考えたお父さんはすごいと思いました。

小 6

▽私は毎日、お父さんとねる前に読書をしています。私にとってその時間は、リラックスできて楽しいです。いつも読み終わったら「ありがとうございます」と思っています。なので、改めて伝えます。「ありがとうございます」これからも続けていきたいです。

小 5

▽わたしは、いつもお母さんとねています。お母さんがいつも手をつないでくれます。わたしはその時がともうれしいです。わたしは手をつなぐことが夜のたのしみです。

小 3

▽お母さんはいつも仕事から帰ってきて、ごはんを作ってくれます。お父さんが「たまにはお母さんにゆっくりしてもらおう」と言って、休みの日にお父さんときょうだいだけでシーフードカレーを作りました。大変だったけど楽しかったです。家族みんな「おいしい」と言ってくれました。ぜひ食べました。お母さんが「ありがとうございます。おいしかったよ」と言ってくれてうれしかったです。ぜひにまた作ります。

小 5

▽私は、3年ぶりに旅行や夏祭りが出来ると、心まちにしていました。ですが、コロナウイルスのえいきようで、どちらも中止することになってしまい、とても悲しかったです。その後、家に大きな荷物が届きました。母が仕事から帰って来たので届いた荷物を開けると、中に射的と景品のおかしなどが入っていたので、とてもうれしかったです。家で、妹といっしょに遊び、私は「たまには家でこういうのもアリかな」と思いました。母には心から、感謝しています。

小6



小6

▽スーパーで、あるおばあさんが買い物をしおわって帰ろうとした時、すごく雨がふりはじめました。おばあさんは、かさを持っていませんでした。ぼくたちが買い物をするまでもまだ雨がふっていました。お母さんがおばあさんに声をかけてかさを貸してあげました。おばあさんの車までお母さんは、送って行ってあげました。お母さんは、びしょぬれだったけど笑っていました。ぼくもお母さんみたいに、こまっている人がいたら助けてあげようと思いました。

小5

▽わたしは、夏やすみにかぞくで、花火をしました。花火はとてもきれいでたのしかったです。きょうだいで花火をしたり、アイスを食べながら花火をみました。花火もたのしいけど、かぞくみんな、いっぱいわらいながらいっしょに花火ができたことがうれしかったです。

小2

▽私は3人兄弟の一番上です。一番上なので弟と妹のためにほしい物をがまんしたり、おこられたり、正直言うところ悪い時もあります。お母さんも、いつも私だけほめてくれないからいやだなと思うこともあります。私が「いつも私だけ」とお母さんにおこった時に「○○には感しやしてよ。○○がいなかったらお買い物にも行けないよ。○○が一番下の子を見ていてくれるからできるんだよ」と言われました。お父さんは「○○にはいつもがまんさせちゃってるな」と言うてくれました。私は、お母さんとお父さんは、ちゃんとわかってくれているんだと思い、それだけでうれしかったです。これからお姉ちゃんとして、少しでもがんばっていこうと思えました。

小4

▽夏休み、お母さんがいないときは、おにいちゃんが、おかあさんが作っていったごはんをレンジであたためてくれます。ぼくがやけどをしないようにしてくれれます。ありがとう。

小2

▽私のお兄ちゃんは、夏休みにゴミ拾いボランティアを月吉地区の6年生の仲間とやっています。毎日朝6時にみんなでげんちに集合してゴミを拾っていました。お兄ちゃんたちのゴミ拾いボランティアは、8月25日の中日新聞にのりました。私は、このこうどうを見て、自分たちが捨てたゴミではないのに拾っているそのすがたがすごいと思いました。わたしもこの町をきれいに活かしていきたいとあらためて思いました。

小4

▽わたしのおにいちゃんは、中学2年生です。わたしは、いつもおにいちゃんにあそんでほしいけど、すなおにいえなくて、けいたいをかくしたりしてしまいます。でも、おにいちゃんは、おこつてもだつこをしてくれます。わたしは、やさしいおにいちゃんがいてうれいす。わたしもおにいちゃんみたいだれにでもやさしくできる人になりたいです。

小1



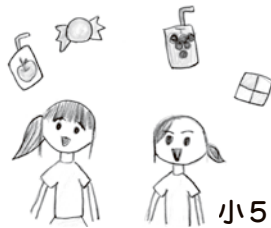
小1

▽ぼくには一つ上のお姉ちゃんがいます。学校に行く時、いつもいっしょに出ます。どちらかがまだじゅんぴができていない時「二人ともちこくしてしまうから、じゅんぴができた方から行きなさい」とお母さんは言います。ぼくは、お姉ちゃんのじゅんぴができていない時に「先に行くね」と行こうとするのですが、お姉ちゃんは、ぜったいにまっけてくれます。なぜかをお母さんに聞かれると「だつて弟が一人で歩いてるときにじこにあつたり、へんな人に声をかけられないか心配になつちゃうんだもん」と言っていました。いつもケンカばかりしてうつとういなしと思うこともあるのですが、心配いしてくれているんだな一と思うとうれしかつたです。はずかしいから言えないけど、お姉ちゃんのやさしさに「ありがとう」と思いました。

小3

▽私のお姉ちゃんはりょうでくらししています。だから休みの日しか会えません。なので、休みの日がとても楽しみです。私のお姉ちゃんは、いつもお菓子やジュースを分けてくれたり、外でいっしょに遊んでくれて、みんなにやさしいです。今までは、お姉ちゃんに甘えていて、何でもかんでも任せていたので、お姉ちゃんがりように入ってから今度は自分が、お姉ちゃんみたいにやってみると意外と大変でした。たとえば、お留守番の時、小さい弟や妹が、ケンカをしないように仲良くあそばせたり、小さい妹のトイレのおせわをしたりするのが大変でした。お姉ちゃんは、いつもそういうことをしていたので、すごいと思いました。私も、お姉ちゃんのようにみんなにやさしくすることができるとお姉さんになりたいと思っだし、今度は、私が、お姉ちゃんにしてもらったことをしてあげたいです。

#### 小5



▽ぼくは、お姉ちゃんにすなおに「ごめんなさい」が言えません。はずかしいからです。でも、お母さんに「ちゃんとありがとうやごめんなさいを伝えなさい」とうるさいほど言われます。この前、お姉ちゃんがぼくのなくした物を見つけてくれたので、はずかしかったけど「ありがとう」と言ってみました。すると、お姉ちゃんもうれしそうな顔をして「いいよ」と言ってくれました。ぼくも伝えてよかったなと思えました。これからもいろんな気持ちを伝えていきたいなと思いました。

#### 小4

▽わたしは、ほんをよむことが好きです。ねるまえにおかあさんがほんをよんでくれるけど、おかあさんがいそがしいと、おねえちゃんがよくしてくれます。ときどきけんかもするけど、よんでくれるときはとってもやさしいです。よんでもらいながらねちやうときもあるけど、おねえちゃんはやみつづけてくれているみたいです。いつも、おれいがいえないけど「ありがとう」とおもっています。「おねえちゃんありがとう！」

小1

▽ぼくとおとうとは、かぜをひいてねつが出ました。学校とようちえんを休んで、いえでねていました。そのとき、おとうとがぼくに水をもってきてくれました。あたまもなでなでしてくれました。おとうともぼくとおなじでねつがあるのに、やさしいので、とてもうれしかったです。そんなおとうとがだいすきです。

小1

▽ぼくには、生後10ヶ月の弟がいます。お母さんがにんしんしたとき、はじめは赤ちゃんはいなくていいだろうと思っていました。生まれたら泣いてうるさいだろうし、いろいろとめんどうさそうだと思っていました。だけど、弟が生まれてからとても幸せな気持ちになりました。とてもかわいいい生後10ヶ月の今は、遊んであげると笑うし、手をふると真似してくれるし、手をたたくこともできるようになりました。ぼくが愛した分だけ、弟もぼくのことを体ぜんたいで愛してくれます。このことが最近のぼくのちよつといい話です。

小5



▽妹が買い物に行くとき自分のおかしより、ぼくのおかしをえらんでくれます。自分のことより相手のことを思いやる妹はすごいなと思いました。

### 小3

▽妹がおとうさんとおかあさんにおこられてないでいました。ぼくは、妹のあたまをなでたりしてやさしくしてあげました。そしたら、おとうさんとおかあさんに「やさしいお兄ちゃんだね」とほめてもらってうれしかったです。

### 小2

▽わたしは、やさいがあまり好きではありませんでした。でも、おじいちゃんがつくったきゅうりをいっしょにしゅうかくして、がんばってたべてみたらおいしかったです。それから、きゅうりがだいすきになりました。ほかのやさいもたべられるようになりました。おじいちゃん、おいしいやさいをつくってくれてありがとう。

### 小1

▽ぼくは、今年の2月に可児市からみずなみのおじいちゃんの家へひっこして来ました。みずなみのおじいちゃんは、可児のおじいちゃんも、お父さんもおしえてくれないことを、たくさんおしえてくれます。おじいちゃんは、ぼくが大人になったら、こまらないうちに、おもしろくてためになることをたくさんおしえてくれます。ぼくが大人になったら、おじいちゃんをたくさん手伝ってずっと長生きしてほしいです。

### 小2

▽ぼくのおじいちゃんは、73才で認知症です。働きざかりの時に、めずらしい認知症になってしまいました。おじいちゃんは、ぼくの顔はわかるけど、名前を忘れてしまいました。夏になっても冬の服を着たり、エアコンの設定を暖房の30℃にしまいました。言葉をほとんど忘れてしまって、意味もわからなくなつて会話がだれともできなくなりました。令和になつたこともコロナのことも、おじいちゃんはわかりません。ぼくは、おじいちゃんが原因不明の認知症になつても悲しかったです。いっしょに外食ができないし、遊びに行くこともできないからです。でも、おじいちゃんの家には家族で遊びに行つて、ご飯をみんなで食べる時に、おじいちゃんは1階に降りてきて、みんなといっしょにご飯を食べます。みんなと会話はできないし、少ししか食べないけど、おじいちゃんは笑顔で食べています。ぼくはそんなおじいちゃんを見て長生きしてほしいなと思います。おじいちゃんがぼくのことを忘れてしまつても、いっしょにご飯を食べる時間を大切にしていきたいです。

小6



小6

▽おじいちゃんがとつぜんなくなりました。まいにちいっしょにごはんを食べ、いろいろなどころにいきました。ようちえんのむかえもしてくれて、ぼくのももだちにもにんきものです。おじいちゃんがなくなつたとき、ともだちもいっしょにかなしんでくれました。おじいちゃんは、ただどこかにいそうです。きっとぼくのことをわらつておうえんしてくれています。

小1

▽私のおじいちゃんは、毎朝中学生や小学生のために横たん歩道に立って見守りをしていています。きっかけは、私が小学1年生になったことと、中学校が新しくなって通う生徒がふえて交通量が多くなったからです。友だちのお母さんから「おじいちゃんが見守ってくれて、とても安心するよ。ありがとね」と言ってもらえました。なんだかおじいちゃんのがほこらしく思い、うれしくなりました。おじいちゃんには長生きして見守りをつづけてほしいです。

小4



小4

▽ばあばが、わたしがわからない夏休みのしゅくだいのところをおしえてくれました。いっぱいやったので手がつかれてきたけど、まだやりたいのでおしえてもらいながら書きました。ばあばもつかれてきたと思いました。お水をのんできゅけいをしながら、また夏休みのしゅくだいをやりました。やっとしゅくだいがおわったので、すぐうれしかったです。ばあばは、もっとつかれていたと思います。だけど、わたしのために、いっしょうけんめいにおしえてくれたことがとてもうれしかったです。

小3



小3

▽私の大きいおばあちゃんは、こしをいためてずっとねたきりです。ご飯もいっしょに食べることが出来ず、自分の部屋で食べています。でもお客さんや、久しぶりに会う人が家に来ると、みんなといっしょの食たくでご飯を食べて、笑顔を見せてくれます。こしがいたいのに人のために行動する大きいおばあちゃんをそんけいしました。家族みんなで大きいおばあちゃんを支えていきたいです。

小6



小6

▽私は、優しく、いいおばあちゃんがあります。私は、いつもおばあちゃんにお菓子をもらいます。私ほもらいすぎてもうしわけないと思っています。おばあちゃんに「どうしてこんなにお菓子をくれるの?」と聞くと「かわいいから」と言っていました。心の中で「愛ってこんなに温かいものなんだ」と思い、とてもうれしくなりました

小6

▽私には、98才の大きいばあばがいました。私の名前も忘れちゃった大きいばあばですが、亡くなる3日前におねえちゃんと顔を見に行ったら「ありがとね」と言って何度も手をにぎってくれました。とってもうれしかったです。ありがとうございます。大きいばあば、天国でも見守ってね。

小4



小4

▽ぼくのひいおばあちゃんは92才です。ちよつと耳は遠いけど元気です。畑でやさいを作ったり、いっしょに買い物に行ったりします。夏休みにいっしょに買い物に行つた時、ぼくとお兄ちゃんがカートをおしたり、ほしい物をさがしてあげたり、荷物を持ってあげたら、ひいおばあちゃんがにこにこしながら「よお気がきくね」と言いました。ぼくは、とてもうれしかったです。ひいおばあちゃんは、ぼくたちに会う時、いつもうれしそうにしてくれます。これからもやさしいひいおばあちゃんのことを助けてあげたり、手伝ってあげたいです。

小4

▽おばあちゃんのいえでいやなことがあつてないとき、よくおじいちゃんのへやにいきました。おじいちゃんは「どうした？おやつあげるわ。おやつたべたらはなふだしよう」といっていつもやさしくしてくれました。おじいちゃんのへやは、あんしんできるところでした。おじいちゃんは、ほとんどいつもベッドでねていたけれど、わたしがいくと、うれしそうにしてくれました。むかしは、おこつてばかりでこわいおじいちゃんだったらしいけど、しんじられません。きよねん、しんじやつたおじいちゃん。また、あいたいなあ。

小1

▽なつやすみに半日一人ですばんをしていました。さみしくなつておばちゃんに「来て」とれんらくしたら「すぐ行くよ」と言つて来てくれました。おばちゃんちから、ぼくのおうちまで30分もかかるのに来てくれてうれしかったです。

小3

▽わたしのおばあちゃんは、月に一回、子ども食どうをやっています。子どもは、ただで食べられます。いつもおいしいメニューをいろいろと考えてくれます。子ども食どうは、お母さんやお父さんがいそがしくてごはんを作れない時に、子どもだけで行けるのでとってもいいと思います。おばあちゃんは、だれかにたのまれていないのにやっているのですごいと思います。これからもみんなのために、おいしいメニューを作ってね。

小3

▽私とおばあちゃんがバスに乗るためにバス停で待っていた時、白いつえをついた男の人が近くを歩いていてバス停をさがしているように見えました。おばあちゃんが、すぐにその男の人に近づいて「バス停を探していますか？」と話しかけると「はい、そうです」と男の人が答えて、おばあちゃんは安全に待つことができる場所に案内していました。知らない人に話しかけるのはとても勇気が必要だけど、こまっている人をみかけたら、私もおばあちゃんのように勇気を出して話かけてみようと思いました。

小5

▽ぼくの地域で停電がありました。その時は、家族全員そろっていました。停電なので、電気を使うようなことはできません。なので、家族で電気無しでもできるトランプやオセロなどをやりました。すごく楽しく、ぼくは家族みんなであることの良さを改めて感じました。

小6

▽私が病気になってしまった時、家族が手紙をくれました。家の中の手紙です。手紙には「はやくいっしょに楽しく遊ぼうね」や「はやく元気になって」という言葉が書いてありました。ほかに、夜ごはんのおぼんにも少し手紙をおいてくれました。私は、手紙をもらうと早く元気になって家族や友だちと遊ぼうという気持ちが強くなりました。手紙のおかげで私は少し元気になった気がしたし、手紙を書いてくれた家族の心と私の心があたたかくなりました。

小4

▽いつものつうがくろに竹やぶがあります。あめやかぜがつよい日に、竹がしなつてしまい、あらく道がなくなつてしまいました。そのことをいえの人にいうと「みんなで竹をきろう」というはなしになって、あらく道ができました。かぞくのきずながすてきたなとかんじました。

小1

▽「ほごねこがいるから一匹もらつてくれませんか」と言われました。家族でそうだんして子ねこをもらうことをきめました。はじめて子ねこがきたとき、家にいた先じゅうねことけんかになりました。家にきて一週間。だんだん、なかよくなりました。今では、先じゅうねこが子ねこのめんどろを見てくれています。

小3

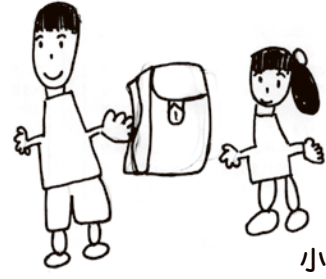


小3

## ☆友だちっていいな

▽わたしは、4月から小学1年生になりました。がつこうからいえまであるくと50分かかります。あるくだけでつかれます。がつこうがえりはフラフラです。いえまでとおいなとおもつていたら、6年生のおにいさんがわたしのランドセルをもつてくれました。じぶんのにもつもあるのに、もつてくれました。うれしかったです。大きくなったら、たすけられるおねえさんになりたいです。

小1



小1

▽そうじのとき、ぞうきんをしぼるのがうまくできないと、6ねんせいのおにいさんが、しあげをしてくれました。おかげで、そうじのおわりのじかんにまにあいました。ありがとうございます。小1

▽ぼくのぶんだんには、やさしくてかっこいいおにいさんがいます。いつもやさしくいっしょにとうげこうしてくれます。ぶんだんげこうの日にうんどうじょうでならんでいたら、あめがふつてきました。ぼくは、かさをもつていなくてこまったなとおもったら、すぐにおにいさんが、かさをぼくにさしてぬれないようにしてくれました。ぼくもおにいさんのようにやさしい人になりたいです。小1



▽わたしには、ペアのお姉さんがいます。5年生のMさんです。夏休みにMさんからお手がみがとどきました。きれいな字でかわいい絵もかいてありました。夏休みでも、わたしのことを考えてくれてとてもうれしかったです。ありがとうございます。

小2

▽夕方、いえの近くでコオロギをつかまえていると、同じ分だんのお兄さんとお姉さんが通って「なにしているの?」とこえをかけてくれました。「コオロギがつかまえられる」と言ったら「ランドセルおいたらまたくるからまってね」とお兄さんとお姉さんは、走って行ってしまいました。すぐにもどつてきてくれて、いっしょにコオロギとバッタをつかまえました。ぜんぶで10ぴき。お兄さんとお姉さんが手つだつてくれてうれしかったです。

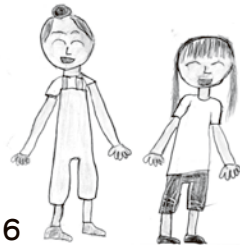
小2

▽学童でビンゴ大会がありました。それぞれ景品をもらい、楽しい時間を過ごしました。私の持っていた景品をほしそうにしている女の子がいました。けれど他の子にあげてしまつて自分が持っている物が一つになってしまいました。少しなやみましたが気になったので、その女の子にゆるることにしました。女の子は、うれしそうにしてくれたので、私もうれしかったです。すると、近くにいた男の子が同じ物を私にくれました。その子のお母さんが「たくさんあるから」とやさしく言ってくれました。短い時間のやり取りでしたが、みんなが笑顔になって温かい気持ちになる帰り道でした。

小5

▽私が通っている学校でイベントがあった時に、6年生の私は、下級生に景品を配っていました。その近くに見に来ていたお姉さんがいました。私を見て「覚えてる？」と声をかけてくれたお姉さんは、私が2年生の時にペアでいろいろなと教えてくれた大好きなお姉さんでした。今、お姉さんは、中学校に通っていて、会うことがほとんどないので、声をかけてくれてうれしかったです。

小6



小6

▽私は、水泳が得意ではありません。今年は、3年ぶりに水泳の授業をやりました。ずっとプールに入っていなかったのですが、とてもドキドキしました。久しぶりの水の感じよくに、少しとまどいながら「水の中で動くことはとても力があるな」と思いました。上手に泳いでいる子を見ると少し不安になって、落ちこんでしまう時もありました。ある日、ペアのMさんが「やればできるじゃん!」と、笑顔で言ってくれました。私も、思わず笑顔になりました。その一言で、少し自信ができました。そして、がんばる力がわいてきました。ありがとう、Mさん。

小4

▽2学期が始まって、ぼくは、がんばって学校に行っています。久しぶりのクラスのみんな。学校には大切な仲間や友だちがいて、毎日、本当に楽しいと思います。ずっと待っていてくれてうれしかった。心が温かくなった。本当にありがとう。

小5

▽小学4年生の時、私は、先生とうまくかわることができなかったし、友だちともあまりじょうずにかわることができませんでした。学校に行くのがこわかったです。だから学校におくれて行ったり、3時間目まで授業を受けて帰ったりしていました。けれど、そんな時、とても仲がよかった一人の女の子が私の家に来て「だいじょうぶだよ、学校で待ってるね！」とニコニコ笑顔で言ってくれました。私は、その笑顔に元気をもらって学校にがんばって行こう！と思えました。そして、友達に「ありがとう」と思いました。

小6



小6

▽私は、友だちとしやべっていた時「あなたは友だちじゃない」と言われました。私は「じゃあ、なに？」と聞いたら「大親友」と笑って言ってくれたので、とてもうれしかったです。小5

▽ぼくは、最近いい友だちを持ったなと感じました。ぼくは、ちがう友だちのことでいろいろあり、休むことが多くなってしまう、登下校できないことが少し多くなっています。休んでしまった日の次の日に、友だちが「なんで昨日休んだの？」など聞かずに、なにごともなかったように話かけてくれました。その時、ぼくは、心が温かくなりました。ぼくもこの友だちのようになりたいたいと思いました。小5

▽私は絵をかくの好きなので、休み時間に一人で絵をかいていると、前の席の女の子が「絵が上手だね」と言ってくれました。私は「あなたの方が上手だよ」と言うと、女の子は「ありがとう。とつてもうれしい」と言ってくれました。私は、その言葉がとつてもうれしくて、じしんを持って絵をかけるようになりました。私は、一人で絵をかいていたので不安がありました。でも女の子の言葉のおかげで不安がなくなり、その女の子とほかの女の子といっしょに絵をかけるようになりました。私は、その女の子にかんしゃの気持ちでいっぱいです。

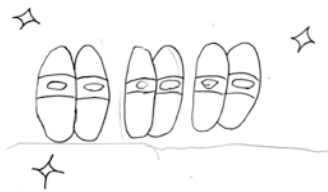
小5

▽ぼくが3年生のころ、○○くんにいじめられていました。ずっと、その子にさけられて悲しかったけれど、ぼくの親友の○○くんが「いじめるやつが悪いからだいじょうぶだよ」と言ってくれて、心がぼつかばかになりました。

小4

▽学校の5分休みの時に、仲がいい友だちとトイレに行きました。私は、スリッパをぬいたらそのまま手をあらうけど、友だちは、ぜんぶのスリッパをそろえていました。私は、友だちは、次つかう人のことを考えてつかっているんだなと思いました。私も次は、しっかりと次つかう人のことを考えて、ぜんぶのスリッパをそろえたいなと思いました。

小4



小4

▽私は、最近友だちっていいなと改めて思いました。私は、あまり友だちに自分から話しかけられませんが、なぜかというところ、この前友だちに話しかけたら冷たい反応をされたので、すごくいやな気分になって話しかけるのがこわくなってできなくなりました。だけど、いつものように黒板を消していたら、仲良しの友だちが「こんどいっしょに図書館で勉強しない？」と話しかけてくれました。その時、私はとっつもうれしかったです。だから、私も自分から話しかけて友だちを「うれしいな」という気分にしたいです。

小5



小5

▽じゅ業中に、少し体調が悪くなってしまいました。じゅ業が終わると、仲のいい友だちがかけ寄って来てくれて「どうしたの?」「大丈夫?」と元気が出るような声をかけてくれて、とてもうれしかったです。ぼくも友だちのように、体調が悪い人や、なやみごとなどがある人がいたら、声をかけて人を元気にさせることができるようになりたいと思いました。

小5

▽ぼくの小学校では、大雨がふると近くの川がはらんし、ザリガニが運動場に干あがってしまふことがあります。かわいそうなザリガニを見て、ぼくは休み時間に川に戻してあげることになりました。ぼくの友だちは、ザリガニをさわるのが苦手だったけれど、協力してくれました。苦手な生き物でも一緒に手伝ってくれたことがうれしかったです。

小5

▽私が学校の図書館へ今人気の本を借りに行った時のことです。私があちこち探している、その本を見つけました。私がおその本を借りようとした時、一人の友達が私よりも先に本に手がとどいてしまいました。私は、少し落ちこんで他の本を借りようかと思っていた時でした。「この本、借りたかったんですよ。いいよ。先に読んで」と友だちが言ってくれました。「その代わり、読み終わったら、私に貸して」私は、友だちにお礼を言いました。きっと、友だちも、この本が読みたかったのに、私にゆずってくれたんだなと思うと、なんだかその本を読むのが、さらに楽しみになりました。

小5



小5

▽わたしには、ちょっとにがてなともだちがいました。でも、わたしがいないいたら、あたまをなでてなぐさめてくれました。それから、そのともだちとなかよくなれてうれしいです。

小1

▽しゅうぎょうしきの後、ぼくは、友だち二人としゃべっていました。そのとき、友だちが「三人大しんゆうだね」と言いました。すると、もう一人の友だちも「本とうの本とうの大しんゆうだね」と言いました。ぼくは、1年生のころ一人しか友だちがいませんでした。でも、こうやってしんゆうがふえていくのは、とてもうれしいし、これからもたくさんふえたらいいなと思いました。

小2

▽私は一年生のころ、自分のよいところが見つからなかったけど、友だちから「いいところはたくさんあるよ」と言われてうれしかったです。

小4

▽夏休み中、友だちから手紙が来ました。それは、〇〇ちゃんからでした。それを見た時「夏休み中でも私のことを思っていてくれてるんだな」と思い、とてもうれしかったです。私も返事を書きました。

小5

▽私が、まだようち園児の時、年少から仲のよい友だちがいました。その子とは、毎日遊んで、どちらかが休むと、その子のことを一日中しんぱいするような仲で、ようち園の先生からも「なかよしだね」と言われるくらいでした。それは、年中になっても同じでした。しかしその子は、2月にとつぜん家族のじじようで北海道へ引っこしてしまいました。それを知った時は、とても悲しかったし、さびしくなりました。少し泣いてしまった時もありました。しっかり「さようなら」と言う前に行ってしまいました。しかし、私のお母さんのラインには、その子のお母さんのラインが入っていました。そのため、たん生日やお正月には、ラインでたくさんしゃべっていました。今年も、まだその子としゃべっていませんが、その子をわすれる日はありません。その子とラインでしゃべるたびに、インターネットがあつてよかつたと思います。

小4

## ★クラブ・習い事

▽私は、スイミングスクールに通っています。友だちもいっしょに通っています。進級テストで受からなくてくやしかった時に、友だちと「受からなくてごんねんだけど、次はがんばろうね」とはげまし合います。そうすると、くやしい気持ちがあうすくなつて、次はがんばろうと思えるのです。私は、はげまし合えるすてきな友だちがいてよかつたなと思いました。

小4

▽私は、テニスのクラブに入っています。今までのペアは、私がミスをしたり自分の気に入らない所があると、すぐに人がいやがる言葉をたくさん言ってきました。ある日の大会で、私がミスをしたら、ペアは「どんまい、どんまい」と、いつもとちがうはげましの声を言ってくれました。それに私が決めたら、ペアは、うれしそうに「ナイスボール」とも言ってくれました。言われた時は、とても不思議に思っていました。でも、人がうれしくなる言葉を何回も言われて「勝ちたい」という気持ちから「絶対勝つ」という気持ちに変化しました。私は、そこで人間とは、ほめられたり「次がんばれ」などののはげましの言葉を言われると、うれしい気持ちになることがわかりました。だから、私は、だれに対しても、人がうれしくなる言葉を使っていきたいです。

小6





▽ぼくは、小学3年生の時からボクシングを習いはじめました。習いはじめて3年になりました。今は、30分えん長して練習したり、多治見市にある高校のボクシング部の練習にさんかしたりしています。お父さんと二人でいろいろ考えながら練習をしています。子どもの部の日以外にも行くようになると「最近、すごいがんばってるね」などと言ってくれて「もっとがんばって上手になろう」と思い、自分から、どんどん「練習につきあってください」とお願いするようになりました。さらに、同じジムでボクシングをやっている友だちのお父さんが「今度、いっしょに他のジムにスパarringをしに行かない？」とさそってくれたので、とてもうれしかったです。このようにやさしくしてくださる人たちがいるので、もっと上手になりたいと思いました。



小6

▽ぼくは、2年生から野球をやっています。最初のころは、自分たちの学校でチームを作っていたけれど、今は人数が少なくなつて7人になってしまいました。だから、2年前から、試合ができないので、他の学校の子と練習や試合をしています。初めは、他の学校の子と仲よくやれるか心配だったけど、今は仲よくやれているのでよかったです。今、ぼくが野球をやれているのもチームの仲間やかんとく、コーチ、お父さんお母さんのおかげです。だからかんしゃの気持ちを持ってこのまま野球をつづけていきたいです。

小6

▽私は、スピードスケートを夢に向かってやっています。スピードスケートは、スケートぐつもスケートに使う服もすごくたくさんのお金がかかります。私だけではできないスポーツです。スピードスケートを満足にできている私はすごく幸せな環境です。でも、それを手伝ってくれたり、そばからいつも見守って応援をしてくれるのは私の家族です。多分、家族がここまで応援してくれなかったら、スピードスケートはできていないと思います。家族に感謝します。家族ってとってもいい人。家族って温かい。考えたらもつともつと家族の良さが見つかります。これからも「ありがとう」という気持ちを持って生活し、いつかスピードスケートで本当の感謝を伝えたいです。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、弟、妹、いつも応援ありがとう。私はとても幸せです。

## 小6

▽ぼくは、バスケットボールをやっています。試合の時に、第4クォーター48対44で負けていました。しかも残り時間57秒でみんなつかれていました。だけど、キャプテンは「まだ時間はある。頑張るぞ」と言いました。ぼくは、その言葉で力をふりしぼり、残り時間4秒で逆転し48対50で勝ちました。ぼくは「キャプテンが声を出してくれたから点が取れたよ」と言うと、キャプテンは「お前がいなければ負けていたよ。ありがとう」と言ってくれました。

## 小6



## 小6

▽私は、合唱団をやっています。6年生なので早く来て、かぎを開けた  
り雑用みたいなことをしています。思ったより大変なので、いつも始ま  
るギリギリに準備が終わります。でもある時、4年生の子が「手伝いましよ  
うか」と言ってくれました、その子が手伝いはじめると、他の子も手伝っ  
てくれたので、いつもより早く終わりました。その子は「いつも手伝い  
ます」と言ってくれてとてもうれしかったです。

小6



小6

▽わたしはソフトボールでピッチャーをしています。1〜5年生まで2号球で投げていましたが、  
もう6年生なので、中学に向けて3号球で投げています。とても重くなったので、ボールが少し  
おそくなつてしまいました。私は速く投げようとし、あごが上がつてしまいます。すると、コン  
トロールがとても悪くなつてしまいます。でも、かんとくが厳しく「あご」と  
言つて注意してくれます。それに、コントロールをよくしようとする足と足の引  
きつけができていなかったら「足の引きつけ」と言つて指導してくれます。  
かんとくが注意してくれたら指導してくれることによって、私は、ボール  
が速くなるんだなあと思えました。

小6



小6

▽私は、低学年の時、ソフトボールをしていました。ボールが顔にあたって泣いた時やバッターボックスでボールがこわくて泣いた時、高学年のお姉さんたちがかけよって「大じようぶ？」となぐさめてくれたのでとてもうれしかったです。私も今、高学年になったので低学年の子が泣いていたたり、こまっていたらやさしく声をかけてあげたいなと思いました。

小5



小5

▽ぼくは、サッカーをやっていて、試合や練習では失敗したり、くじけたりしたけれど、かんとかから「失敗は成功のもとだからどんどんチャレンジしろ」という明るい声に動かされました。それから何度もチャレンジしました。一回ではうまくいかないけれど、何度もやるのが大切だということを学びました。かんとかからの声かけはうれしかったです。ぼくもかんとかのように相手がうれしくなるよう声かけをしていきたいです。

小6

▽私は、習い事で新体そうをやっています。きよ年の春休みの前に、長年お世話になっている新体そうの先生がやめることになりました。最後の練習が終わった後、先生は私たちに「今までありがとうだね。来年もがんばってね」と言ってくださったおかげで来年も新しい先生とがんばっていいこうと思うようになりました。

小6

▽ぼくは、そろぼんで大会がありました。金賞をめざしていましたが、銀賞になってしまいました。けれど、友だちが「金賞がとれなくても、自分がせいっぱいがんばったならいいんじゃない」とはげましてくれました。なっとくした点数や、順位が取れなくても、せいっぱい自分の全力を出せばいいんだと思いました。

小6

▽私は、そろぼんを習っています。この前、大会に行ってきました。三人がけの机で私は一番左側の席でした。となりの三重県から来た方にプリントをまわすと、両手で受けとってくれて「ありがとうございます！」と気持ちいい声で言ってくれたので胸があったかくなりました。

小6

▽ぼくは、バレーボールのキャプテンをつとめています。なやみがありますが、チームをまとめている時に「〇〇がキャプテンでよかった」と言われました。学校も学年もちがうけれど、一生友だちでいたいです。

小6

▽ぼくは、ギターを習っています。でも、ギターを習いに行く時に「めんどくさいな。やりたくないな」と思うことがあります。けれど、つかれて帰ってきた時には、お母さんがいつも「おつかれ様」「上手に出来てたよ」と言ってくれます。それを聞いてぼくは「こんなにぼくのことを思っていてくれたんだな」と改めて感じ、次は、もつとがんばろうと思いました。

小6

## ★先生ありがとう

▽私が5年生の教室で、えい語の勉強でこまっていたら、支えん員の先生から「今からペア交流だよ」とやさしく教えてもらえた。高学年になって、むずかしい勉強はドキドキする。教室にいるのが少しだけいやな気分になる。支えん員の先生のおかげで、わからないことを聞くことが、はずかしいことじゃないとわかった。えい語で話すことも自しんがもてるようになった。ありがとう。

小5

▽ぼくは、3年生の時のたんにんの先生が、ちがう学校に行ってしまったので手紙を書きました。一週間後にポストを見たら、へんじが来ていました。手紙の最後に「○○くんのがんばりをまたおしえてくださいね」と書いてあったのでうれしかったです。

小4

▽わたしは、学校でひる休みにともだちとあそんでいました。まるでじゃんけんをしていたらどんだん人があつまってきました。その中に校長先生もいました。わたしは、びっくりしました。おかあさんもびっくりしていました。校長先生というイメージは、校長室にいるこわいイメージでした。でもちがいました。いっしょにあそんでいる校長先生は、たのしそうでした。校長先生とあそべてうれしかったです。校長先生とあそんだのがわたしのじまんです。

小2

▽私は、委員会で、助けを求めることがなので、一人でなやんでいました。そのなやみにきづいたかのように、4年生の時にならった先生が声をかけてくれました。その先生にそうだんをしてみたら、いろいろアドバイスをくれました。おかげで委員会では、しつかりとそうだんできるようになりました。本当にありがとうございました。

小6

▽ぼくは、しゆくだいをすることがなです。でも、いやな気もちでもがんばってやっています。いつもしゆくだいをいっしょにやってくれる学どうの先生が、おかあさんに「いつもがんばっていますよ」とつたえてくれました。ぼくのがんばっていることを見ていてくれてうれしかったです。

小2

▽ぼくは、先生やお母さんに「字をきれいに書きなさい」とちゆういされます。ある日、お母さんに「字は何のために書くの？」と聞かれました。ぼくは、はっとしました。今まで考えたことありませんでした。字は人に伝えるために、読んでもらうために書くものだと教えられました。その日の宿題で、ぼくは心をこめていいねいに書きました。すると先生から「すごい！がんばったね！」とほめてもらいました。とてもうれしかったし気持ちよかったです。

小4

## ☆地域の人のつながり

▽私の家の畑の大事な野菜を夜中にイノシシが食い荒らしていききました。おじいちゃんの大切なさつまいもやかぼちゃ、すいかが、朝見るとぐちゃぐちゃに掘り起こされていました。それを知った近所のおばさんが、気の毒にと、かぼちゃを二つくれました。ちがうおじさんは、すいかをくれました。近所の助け合いの心と、思いやりの気持ちを感じました。

小6



小6

▽私が母と外で歩いていると、ちょうど近所のおばさん、おじさんに会いました。その時、私に話しかけてくれて「もうこんなに大きくなったんだね。これからも元気に過ごしてね」と言ってくれました。私のことを覚えてくれてうれしかったし、なにより、私に声をかけてくれたことがとてもうれしかったです。地域の方のぬくもりを感じられてうれしかったです。

小6

▽あつい日にエアコンをかけていて、まどをしめていたので夕立にきづきませんでした。すると、となりのおばさんがでんわをくれて「いま雨がふってるよ。2かいのまどがいっぱいあいてるよ」とおしえてくれました。おばさんのおかげでへやがぬれずにすんだから、おばさんにかんしゃをしました。

小2



▽釜戸小学校、幼稚園では、空カンを集めています。コロナで資源回収が出来ないのでこまっています。そこで、近所のおじさんに、空カンを集めていることを伝えると「地域の子たちのために」と言っって市の資源ゴミに出すのではなく、釜戸小学校に持ってきてくださっています。地域の子どもたちのためにとやってくれることが、とてもうれしいです。

小6

▽ぼくが、一人で散歩をしていると草をかっていました。草かりをしていた人は、和合ばしの方から薬師ばしの所までを一人でやっていました。ぼくは、すごいと思ました。草をかっていた人は、晴れの日に、草をかっていたのであせをかいていました。でも、みんなのために、草をかっていたので、すごかったです。ぼくは、まだ子どもです。でも、夏休みは、ぼくでもできるボランティア活動ができるようになりたいです。

小6

▽最近、帰り道に、ごみを拾っている地域の人を見つけました。ぼくは、ごみ拾いなんてしないから、とてもすごいなと思いました。みんなのためにこの地域を支える活動があるなんてとてもうれしいです。ぼくもこんな活動ができる大人になりたいと思いました。

小6

▽ぼくの家近くに、たくさん草がはえていました。通る時にじゃまだし、道が見えにくかったのでこまりました。だけど、ある日、地域の人が家の近くの草をぜんぶかっつけてくれました。草かりが終わった後、外を見たらきれいになっていました。ぼくは、自分の土地ではない所も草をかってくれてありがたいと思いました。

小3

▽五月に瑞浪市市民大会がありました。ぼくは陸上の競技に出ました。会場の陸上競技場には、草がたくさん生えていました。すると、大会の前に、ぼくたちの陸上クラブのお父さん、お母さんや北中のみなさんがきれいに草をぬいてくれました。そのおかげで気持ちよく走ることができてうれしかったです。ありがとうございました。

小6

▽学校がある日の朝、さかをのぼる手前のおうだんほどには、ちいきの人がいて、いつもみんなのこうつうあんぜんをまもってくれています。わたしのぶんだんと、ほかのぶんだんの子がくると「おはようございます」と、大きな声であいさつをしてくれます。そのあいさつをしてもらうと学校を今日もがんばろうという気もちになります。今日もまたあいさつをしてくれました。わたしは、ちいきのかたにあいさつをかえして学校に行きました。

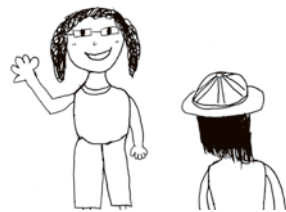
小2



小2

▽私が登校する時に、毎朝見守ってくださいている近所の商店の方がいます。その方は、私が覚えているかぎりでは、大雨の日でも、土曜日のじゅ業参観の日でも、見守ってくださいています。そして、毎朝声をかけてくださるのでとてもうれいす。毎年、分団でお礼を言いに行きます。すると、笑顔で「ありがとう」と言ってくださいるので、わたしもうれしくなりました。

小5



小5

▽夏休みにコロナになりました。家の中で10日間すごさなければいけませんでした。お母さんもコロナになってしまったので、買い物に行ける人がだれもいませんでした。とてもこまっしてしまいました。きん所の人やおばあちゃんたちが、ゼリーや食べ物を買ってきてくれました。みんなのやさしさにたすけられました。

小3

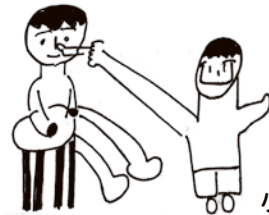
▽朝のしゅうごうばしよで、わたしが、わすれものをしていえにとりにいってもどつてきたら、みんなは、さきにしゅつぱつしていました。すると、〇〇さんのお母さんがいっしよに歩いてくれて、「だいじようぶだよ。前のぶんだんについていけばいいよ」となぐさめてくれました。毎日、みまもつてくださいているので、かんしゃしたいです。わたしも、〇〇さんのお母さんのようなやさしい人になりたいです。

小2

## おうれしい出来事

▽ぼくは夏休みにコロナになった。たくさん病院に電話をしたけれど、みてもらえなかった。だけど、ある病院の先生は「今すぐきて」と言ってくれた。病院に着くとすごい車の数だった。でも、ていねいにみてくれた。「だいじょうぶ」と言ってくれた。とてもうれしかった。先生、みてくれてありがとう。元気になりました。

小4



小4

▽私が小学校1年生の時、お父さんとコンビニへ行きました。でもお父さんは、犬を2匹つれていたので、中に入れないから、自分一人であのまれた物を買いにレジへ行きました。レジは、いっぱい人がならんでいたのので私は、一番さいごにならんでいたら、前の男の人が「きみ一人で買いたいのか？えらいね。おさきにどうぞ」と言ってくれました。私は、さいしょ、こわい人だなあと考えたけど、ぜんぜんこわくはありませんでした。私はほっとして「ありがとう！お兄さん」と言って前に行き、レジが終わって家にかえろうとしたら、お兄さんがえがおで手をいっぱいふってくださいました。私も席をゆずったり「おさきにどうぞ」とレジをゆずってあげたいです。またあのお兄さんに会ったら「この前は、ありがとうございました。本当にかんしゃしています」と言いたいです。

小4

▽わたしは、大くての夏まつりに行く予定でした。けれど、コロナウイルスのかんせんがすごく広まってきたので、なしになってしまいました。はじめて友だちと行く予定だったので、とてもさんねんな気持ちでした。けれど、はっと気づいたのです。エスプランに花火が上がることを。それで気持ちがパツと晴れたのでとてもよかったです。

小3

▽わたしは、せんじつ、ごう雨でたおれた大くてのすぎの木のあとを、おばあちゃんと、おばさんと、わたしで見に行きました。わたしの身長よりも大きくて太くて、はく力がありました。こんなに大きいすぎの木でもたおれてしまいました。新しい形でよみがえって、ふたたびこの場所で見れてうれしかったです。

小3

▽ぼくが生まれる前は、ホテルがぜんぜんいませんでした。でも、最近が増えてきています。昔と比べてかん境がよくなっているようです。ぼくが大人になっても、ホテルがたくさんいるかん境を守っていききたいです。

小6

▽ぼくの家では花を育てています。ある日、近所の方に「お花きれいだね」と言われました。そのことを母に話すと母は「花には人を幸せにする力があるんだよ」と教えてくれました。ぼくは、今育てている花を全部咲かせて、町中の人を幸せにしたいと思いました。

小6

▽しずおかに旅行したとき、お昼ごはんに海せんどんが食べたかったのに、お昼にはおそい時間だったのでお店に電話をしました。もう店をしめる時間だったけど、ぼくたちのためにまっけてくれました。そのおかげでおいしい海せんどんが食べられたので、とてもいい思い出ができました。お店をしめずにまっけてくれたおじさんのやさしさと、海せんどんのおいしさでむねがいっぱいになりました。

小3

▽沖縄へ行った時にカヤックツアーをしました。その時のガイドさんが、小さな砂はまに連れて行ってくれました。そこは、元々たくさんのおきやペットボトルのごみがあつたそうです。「だれがきれいにしたと思う？」と聞かれました。なんとそのごみは全部ガイドさんがきれいにしたそうです。たくさんあつたごみを全て拾い、きれいにしたことはとてもすばらしいことだと思います。私も小さなことかもしれないけれど、ごみをみつけた時は、拾いたいと思いました。

小6

▽ぼくは、テレビ番組で日本にラッコが4頭しかいないということを知りました。アラスカ沖で石油をはこぶタンカーがぎしようにして石油が海にながれ出て、たくさんラッコが死んでしまいました。そのほかは、ラッコの毛がわをねらっている人にころされてしまったそうです。ぼくは、そんなきちょうなラッコを見に行きたいと思つて鳥羽水族館にいきました。ラッコは、2頭いて元気に泳いでいました。そんなきちょうなラッコを見に行けてうれしかったです。

小3

▽私は、夏にアスレチックに行きました。私が楽しんでいると、小学校1年生くらいの子が上でこまっています。次の場所まで足がとどかず、ジャンプするしかなかったからです。その子はもう泣きそうになっていました。すると、アスレチックの下にいた係の人や他の子、大人など、みんなが「がんばれー」とその子に声をかけていました。そして、その子は、みんなの応援で次の場所にジャンプすることができました。ジャンプした時、そこにいた子どもや大人の人が、その子にはく手をしていました。それを見て私は自分がかく手されたわけではないのに心がとても温かくなりました。

小6

▽以前、私の家の庭に、ガーデンチェアが二つありました。古くなったので、捨てようかと思ったのですが、もったいなかったので、うらの道路に面した空き地に、二つならべて置いておきました。少しさびているし、場所も家の前に置いてあるので、だれもすわらないと思っていました。ですが、ある日二人のおばあさんがすわっていました。おばあさんは、家を出た私に「いつもここで休けいしているよ。ありがとね」と言ってくれました。家の前の川ぞいのていぼうを毎日、散歩道にしているらしく、一番休けいしたい場所に、ガーデンチェアがちょうど二つあるので助かっているそうです。わが家では、いらなくなった物だけど、だれかの役に立てばいいなと思っ

小6

▽私が階段を下りようとした時、おばあさんとおじいさんが重たそうな荷物を持っていました。私が「荷物、持ちましょうか」と言うと「お願いしてもいい？」と言われたので「いいですよ」と答えたら「ありがとう」と言われました。人助けをした後はとつても気持ちがよかったです。

小6

▽ぼくは、野球をしています。野球の宿題ですぶりをしていたら、たまたま通りかけたトラックの運転手さんがグッドサインをして「ナイス」と声をかけてくれました。ちょうど野球がいやだなあと思っていたので、その気持ちがぶつとんでいきました。ぼくはとてもいい町に住んでいるんだなあと感じました。

小4

▽ぼくの家の近くに足が不自由なおじいちゃんがいます。そのおじいちゃんには、いつもまつばづえをつきながら、おもいゴミぶくろをもつてゴミ出しに行きます。ぼくは、おじいちゃんが大人だと思ってゴミぶくろをもつを手つだつてあげました。すると、おじいちゃんは、うれしそうに「ありがとう」と言ってくれました。ぼくは、とつてもうれしかったです。早く大きくなって、一人でゴミ袋をもてるようになりたいと思いました。

小2



小2



▽4さいのとき、パパのマルシエのおみせをおてつだいしました。「いらっしやいませー」といいました。すると、おきやくさんが「がんばってるね」といつてくれたので、すこしはずかしかったけど、うれしいきもちになりました。

小1

▽家のげんかんに2年れんぞくツバメが、すを作ってくれました。3年前は、作っているさい中でこわれて落ちてしまいました。もう家には来てくれないかと、悲しい気もちになったけど、うれしかったです。一回目のひなは、四わ生まれて全ぶす立ったけど、二回目のひなは、四わ生まれて一わ落ちて死んでしまいました。のこりの三わは、元気に育ちました。昼間はどこかに行きますが、夜になるともどつて来ます。ちゃんととべるようになりました。もう親鳥と同じくらいの大きさです。ぼくは、ふんのそうじがかりなので、毎日大へんですが、ひなのせい長を見ているとうれしくてがんばれます。す立つ日が楽しみです。

小3



小3

▽わたしは、おうちにかえるまでのけしきがだいすきです。きよねんの3がつに、かながわからひっこしてきました。そらがとてもきれいで、ゆうがたのオレンジいろのたいようがだいすきです。とてもきれいなけしきをみたくて、おさんぽすることがふえました

小1

▽私は、1年生の時に引っ越しをして、家に荷物を運んでいると、そこを通りかかったおじさんが「引っ越し？がんばってるねえ。そうだ、これあげるよ」とご平もちをくれました、知らない子どもにも、通りかかっただけでご平もちをくれた、いろんな人へやさしい行動ができるすばらしい人だと思いました、おじさんの行動で心が温かくなりました。

小6



小6

▽私が小さいころ、お店のトイレで順番待ちをしていたことがありました。私の前に並んでいた人の順番が来て、その人がトイレに入ったけど「トイレトペーパーがないわ」と言って、となりの個室に入って行きました。でも、すぐに出てきてトイレトペーパーを持って来てくれました。自分のことだけでなく、後ろの人のことまで考えてくれて、やさしい人だなと思いました。私もこういうことがあったら、同じように、行動したいと思いました。

小6

▽今年の夏休みにわたしの家のクーラーの調子が悪くなり、家族全員暑くて困ったので、業者の人に修理してもらうことになりました。その日もとても暑い日だったけれど、業者の人はどんなに暑くても一生けん命に修理をしてくれました、その結果、クーラーも直つてすごくうれしかったです。あのとときの業者の人には今も感謝しています。

小5



小5

▽分団で登校をしている時、いつものように道をわたろうとしていました。しかし、車が来てしまいとまっていたのですが、車がとまって「先行つていいよ」と、合図をしてくれました。そして、わたりきった後、みんなでおじぎをしたら返してくれました。その時、ぼくは、心がほんわか温かくなりました。

小6



小6

▽レストランのドリンクコーナーでコップがなくてこまっていたら、知らないおばさんが「ここにあるよ」とおしえてくれました。びっくりしたけど、おしえてくれてうれしかったです。わたしもだれかがこまっているときに、おしえてあげられる人になりたいです。

小2

▽ぼくは、よく「くつをそろえなさい」とおこられます。そんな時、おじいちゃんが、長野県のふじ本こうほうさんという和尚さんの話をしてくれました。「はきものをそろえると心もそろろう。心がそろうとはきものもそろろう。ぬぐうときにそろえておくと、はくとき心がみだれない。だれかがみだしておいたら、だまってそろえてあげよ。そうすればきつと世界中の人の心もそろうでしょう」と言う話です。3才の妹は、くつがうまくぬげないです。ぼくがそろえてあげたら、お母さんに「さすがお兄ちゃん」とほめられてうれしかったです。みんながうれしくなるので、気をつけてくつをそろえたいです。

小3

中学校編



- ✿ あいさつでニコニコ笑顔…………… 47
- ✿ 家族っていいな…………… 50
- ✿ 友だちっていいな…………… 55
- ✿ 部活・クラブ…………… 65
- ✿ 先生ありがとう…………… 75
- ✿ 地域の人とのつながり…………… 77
- ✿ うれしい出来事…………… 81



## あいさつでニコニコ笑顔

▽これは、私といとこで外に行って走って遊んでいた時の話です。ある場所でおばあさんとおじいさんがたばこを吸っているところに、いとこと私があいさつをしたら、その二人の人から「あいさつをしてくれて、いい子だね」と言われました。私は、あいさつをするのは当たり前だと思っていたのでその発言にびっくりしたし、お互いが良い気持ちになったので良かったです。

中2

▽私が小学6年生の時、毎朝、集合場所に地域の方がいました。その一年間は、すごくお世話になり、感謝の気持ちと共に卒業しました。中学生の今でも、そこを通りすぎると、地域の方が「○○ちゃん、おはよう！」と言ってくさるので、私も「おはようございます」と、朝から元気な気持ちで学校に行きます。私にとって、この会話が毎日の楽しみです。あいさつひとつでこんなにもうれしくなるって、とってもすてきだと思います。今日も朝から「いつてらっしやい」と見送ってくださいった地域の人に、今度は私が「いつてきます」と、私にくださった元気をお返ししたいと思えました。あいさつは、私にとって、とってもすてきな魔法です。

中2



中2

▽私がいつも通る道では、とても温かい地域の方々があります。少し大きな声で「おはようございます」や「こんにちは」とあいさつをすると「おはよう。元気だねえ」や「こんにちは。おかえり」と言ってくれます。初めは「おかえり」に対して、何て返したらいいのか戸惑ってしまい、返すことができなかつたけれど、毎日「おかえり」と言ってくれたので、今では、戸惑うことなく「ただいま」と返しています。瑞浪市は家族のように温かい人であふれているので、今では、瑞浪市が私の家です。

中2

▽自分は、毎日近所の人にあいさつをするよう心がけていましたが、一日だけ疲れた朝にあいさつするのを忘れた日がありました。そんな時「今日元気ないね」と声をかけてくれた近所の人。その声で「毎日自分のことを見てくれたのか」と思い、あいさつひとつで一日が決まるのかもなど感じ、それから毎朝気持ちのよいあいさつをすると決心した日になりました。

中2

▽学校からの下校中、僕は毎日、途中で一人の年配の男性とすれ違います。いつも僕は「こんにちは！」とあいさつをします。すると年配の男性も「こんにちは、おかえり」と言ってくださります。普段はそれだけです。後日父と男性が話をしているのを見かけました。話し終わった父から「北中の子はすごいねえ。気持ちがいい。瑞浪の星だね」と言っていたと聞きました。僕はそれを聞き、とてもうれしくなりました。これから、あいさつを必ず続けていきます。

中2

▽毎日、学校に行く時、僕が「いつてきます」と言わなくても、お母さんは「いつてらっしゃい。気をつけて」と送ってくれます。そんなあいさつに僕は、きげんが悪いときに、無視したり「うるさい」と感じたりすることがあります。でも、改めて、あいさつの意味を考えてみました。その答えは「僕を心配してくれている」でした。それがわかってからは、お母さんがあいさつをしてくれたら「うるさい」と無視をするのではなく、一回一回の心配してくれているあいさつに感謝し「いつてきます」と返事ができるようになっています。

中1

▽私は、朝、バス停まで歩いて行きます。バス停に着いてからの待ち時間、毎日、小学生が乗っているスクールバスが通ります。人数は少ないですが、6人ぐらいがいつも乗っています。毎日、バスが通るたび、その小学生は元氣よく手を振ってくれます。それがとてもうれしいです。それに、歩いてくる小学生も「おはようございます」と大きな声であいさつをしてくれるのも、とってもうれしいです。このようなことをしてくれた時、私は自然と笑顔になります。そして、私も、中学校で相手が笑顔になるあいさつを心がけて生活していきたいと思います。

中1



中1



## ☆家族っていいな

▽私は、中学3年生になってから、将来のことについて少しずつ家族や友人と話すことが増えてきました。高校について、どこの高校に行きたいかを家族と相談することもよくあります。母は、私に行ってほしい高校があるのですが、私が行きたいと思う高校と違います。しかし、私の行きたいと思う理由を聞いて、母は私が一番良い高校に行けるように高校についてたくさん調べてくれます。私が良い高校生活を送れるように、もっと言えば、良い人生を送れるように、貴重な時間を使って私に向き合ってくれることをいつも実感して、とてもうれしい気持ちになります。私も親の支えをありがたく受け取って感謝できるようにしたいです。

中3

▽私は、お父さんが単身赴任で家に居ないので、少しでも、お母さんの役に立ちたいと思い、夜ご飯を作ってあげる時があります。お母さんは、いつもそのご飯を食べると「おいしい！ありがとうね」と私に感謝の気持ちをお伝えしてくれます。私は、そう言われると、心が温かくなり、とてもうれしい気持ちになります。私は、恥ずかしくて素直に感謝の気持ちを伝えることができません。でも、私のために仕事で疲れていても、朝ご飯を作ってくれたり、一緒に笑い合える時間を作ってくれたりするお母さんに「ありがとう」と伝えたいです。お母さん、いつもありがとう。

中3

▽私の母は、月曜日から金曜日、朝から晩まで仕事をしています。最近では土曜日にも仕事をしています。ですが、さすがに仕事をずっとしているため、少し前、母は初めて熱を出してしまいました。今までかぜもけがもなかった母だからこそ、少し焦ってしまいました。母は、私のためにも働いてくれているので、熱が出ていた5日間はいっ以上に家事をしました。すると母は「今日もありがとう」と言ってくれました。家事をするくらい当たり前で言わなくてもよいのに、母は毎日必ず「ありがとう」と言ってくれていました。苦しい時でも誰にでも礼儀を忘れない心をもっている母をこれからも大切にしたいです。

中3



中3

▽私は家に帰ると、母に頼まれている晩ご飯をつくりまします。帰ってきた母に「めっちゃいいにおいする!」と言われました。私は嫌々やっているのですが、こんなふうに言われたら、うれしくて「もうちょつとがんばろうかな」と思っています。今日のご飯は、チャーハンです。 中3

▽私がソフトボールの試合でなかなかヒットが打てないことが続き、悩んでいると、母が「あんたはがんばつとるよ。すごい!」とほめてくれたので、練習や試合に対して前向きに考えられるようになったし「家族ってむっちゃあたたかいな」と思いました。 中3

▽2年生の頃、クラブをやっていた時、僕がやっていた種目でケガをして、あまり記録が出ませんでした。その時の僕は、早く治さなければと焦りがたくさんありました。そんな時、親が僕に「記録は、これから伸ばせばいいから」と言ってくれました。この言葉を聞いた僕は、不思議と焦りがなくなり、そこからケガを治し、いい記録を残すことができました。

中3

▽僕には、中学3年生に姉がいます。姉は、ソフトボールをやっていて、いつも土日にソフトボールをがんばっています。前はソフトボールで県1位になってびっくりしたし、すごいと思いました。今度は日本1位になれるように応援をがんばりたいです。

中1

▽弟にかさを届けに行った時「お兄ちゃんありがとう」と言われました。いつも「ありがとう」なんて言われないけど「ありがとう」と言われて、ちよつといい気持ちになりました。

中1

▽私の祖父は、ベットから起き上がるのも大変な状態です。それにも関わらず、私が祖父母の家に遊びに行くと、ベットから起き上がり、車椅子に乗って玄關まで出迎えてくれます。それに、「よく来てくれたな」と言ってくれて、私もとてもうれしい気持ちになります。自分が大変な時でも笑顔で話しかけてくれる強い祖父が私は大好きです。

中3

▽私がおばあちゃんと散歩に行った時、おばあちゃんがすつと私の手をつなぎました。照れくさかったけど、そこから伝わる温かさやほつとした気持ちを感じました。ある日、テストを見せにおばあちゃんの家に行きました。テストを見たおばあちゃんは、手を差し出しました。私は何かくれるのかと思い、私も手をおばあちゃんの手の近くに出すと、手をにぎってこう言いました。「手をつなぐことができてうれしいよ」と。少しのことだけど、おばあちゃんの気持ちを知られて良かったです。また、散歩のことやテストのことから、これからも手をつなげる時や手をつなげたそうにしている時は、積極的に手をつないでいきたいです。

中1

▽私は、自分がやりたくないこと、嫌いなこと、面倒くさいことがあると、後まわしにしてしまうタイプです。だから、勉強や宿題を夜にすることが多くなっています。私が一人で宿題をしていると、おばあちゃんが良く起きてきてくれて、「こんなおそい時間にやるんじゃないかって、もっと早くやりなよ」としかりつつも「がんばれ」と言って、飲み物をおいていってくれます。私は、そんなやさしいおばあちゃんの応援で心が温かくなり、勉強がはかどります。私もおばあちゃんみたいに、ちよつとした気づかいができる人になりたいなと改めて思いました。

中1



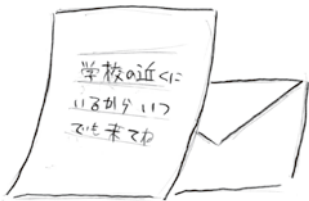
中1

▽僕の祖母は、今年の春にのどの手術をしました。そのため今は声が出せないみたいです。普段食べていたご飯も普通には食べられていないらしく、流動食で賄っていたみたいです。手術をするという聞いた僕たちは、春休みに祖母の家へ行き「手術がんばってね」という思いを伝えることにしました。コロナ禍ということもあり、会うのは半年ぶりだったけれど元気そうでした。また、少しでもエールを伝えられるようにするために、お守りを買ってあげることになりました。祖母にお守りを渡した時に「ありがとう。おばあちゃんもがんばるよ。そっちもいろいろ大変だけどがんばってね」と言ってくれました。祖母は手術前なので精神的に不安な時期だったと思います。それでも笑顔で僕ら家族に「がんばってね」と声をかけてくれました。手術以降、祖母に会えてないのでまたいつか会いたいです。いつまでも長生きしてほしいです。

中2

▽私の親せきが中学校の近くに住んでいます。去年、いつもと違う場所、いつもと違う環境に変わり不安でいっぱいでした。でも入学式前日にその親せきから手紙が届きました。その内容は「いつも学校の近くにいますから何かあったらいつでも来てね」という感じでした。その手紙のおかげで不安が安心に変わり、気がつくとも中学校へ行くのが楽しみになっていました。その親せきのおかげで今は楽しく元気に学校に行っています。「不安を安心に変えてくれてありがとう」と伝えたいです。

中2



中2

## ☆友だちっていいな

▽僕の友だちに自分のことをよく気にしてくれる人がいます。その子は、人一倍努力する子で周りをよく見ています。僕が暗い顔になったら誰よりも先に気付いてくれる子です。でも無理をしすぎる子でもあります。その子の思いを知れたのはクラブの話し合いです。その子が泣きながら思いを伝えてくれました。僕は今までその子の思いに気付いていませんでした。けれど、話を聞いて、よく分かりました。今まで大変だったこと、辛かったことがよく分かり、その子に辛い思いをしてほしくない一心で僕はその子のためにいろんなことをしました。今では、今まで以上に最高の友だちになりました。

中2

▽私は、中学に上がってすぐは、一人でいることが多かった。もともと人と話すのが苦手で、仲良しと言える友だちも数人だった。1年生の後期に、ある子が私に話しかけてきた。前期に仲の悪かった子で、初めは「何かを企んでいる」と思っていた。でも、その子は「仲よくしよ！」と笑顔で言う言ってくれた。その言葉があつてよかったと今、すごく思っている。その子のおかげで一人で過ごすことも減って楽しい。この楽しさを教えてくれたその子にすごく感謝している。

中2



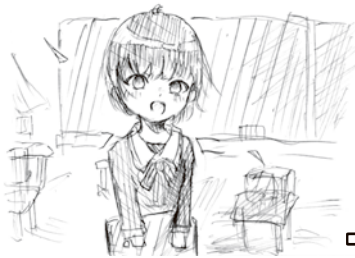
中2

▽新しいクラスで友だちができるかドキドキだったけれど、話したことがなかった子とも話せたのがうれしかったです。休み時間は一人ぼっちで、一年間ずっとこれなのか…と心の中で大泣きしていたけれど、隣のクラスに女神がいて、救われました。今では、毎日がハッピーです。女神と残り少ない中学生生活を楽しみたいです。

中3

▽私が中学2年生になってすぐのこと。委員会決めがありました。私は、立候補しようと思ってた係がありました。ですが、一つ、まだ誰も立候補していない委員会がありました。数十分、誰の手も挙がらないまま、その時間は終わってしまいました。次の委員会決めの前に私は考えました。「立候補してしまおうか。他の子が立候補するのを待つか」とっても悩んだけれど、私は、クラスのためにも手を挙げることを決めました。委員会決めの日、私は、数分の沈黙の中、挙手をしました。クラスの子の視線は、こちらに向けられていて、正直恥ずかしかったのを覚えています。公約を話し終わると、大きな拍手が飛び交いました。私は、温かい気持ちになり、みんなの何気ない行動が私の心を変えてくれました。今でもその委員会で仕事をしているのですが、周りの子にたくさん支えてもらっているし、あの時の拍手のおかげで続けられていると思います。本当にありがとうの感謝の気持ちでいっぱいです。

中2



中3

▽私は、小学6年生の時、当時小学2年生の子に絵の書き方を教えていました。その子は楽しそうに話を聞いてくれました。小学校最終日、その子が「中学校でもがんばってね」と言って手紙をくれました。帰ってから手紙を読んでみると「教えてもらったおかげでうまくなりました。ありがとうございます」と書いてあって自分の絵に少し自信が持てました。その手紙は、大切な宝物です。

中1



中1

▽私が中学1年生の頃、今までで一番落ち込んだ出来事がありました。その時、友だち二人が「どこか出かけよっか」と言ってくれているところに来て行ってくれました。その時、私をとっても楽しい気持ちにしてくれて、たくさん話を聞いてくれました。帰る時に「楽しかった？」と聞かれて、遊んだ後にこんなこと言われたのが初めてだったので「楽しかったよ。でもなんで？」と聞きました。すると「楽しかったなら、この先落ち込むこと以上にもっと楽しいことがいっぱいあるよ。がんばりな」と言われました。その時、すごくうれしかったです。二人の友だちとは、よくふざけ合う仲で「家族みたいだね」と話すくらい仲がよかったけれど、こんなに想ってくれているとは思っていなかったのです、すごくうれしかったですし、本当の家族みたいだなと改めて感じました。これからもこの二人の友だちを大事にして次は私も支えられるようにしたいです。 中2



▽私の両親は、仲が良いとは言えない関係です。時々、そのことですごく不安になって、今後、どうなるんだろうと考えて悲しくなります。これを幼稚園からの幼馴染に相談したら、その子も同じような状況だったことがわかり、お互いに悩みを打ち明けることができました。ラインでのやり取りはあったけれど、その子の優しさがとても伝わってきて安心して涙が出そうでした。家族にも相談しづらい内容だったので、話せて気持ちが楽になったし、話を聞いてくれたことがすごくうれしかったです。悩みを相談できる存在を、これからも大切にしたいです。

中2



中2

▽私は、クラスで嫌なことがあったり、人と比べてしまったりして、ずっと自分のことを「自分はいなくていい」「必要ない」と思い落ち込んでいた時がありました。そして、学校に行くのが怖くて休んでいた時もありました。不安で心細い気持ちだったけれど、頑張って学校へ行くと、仲の良い友だちが近寄ってきて手紙をくれました。その手紙には「私にはあなたの笑顔が必要」「あなたがいてくれないと寂しい」と書いてあり、とても嬉しくて涙が出ました。自分の近くにこんな良い友だちがいたことに、改めて感謝しました。私はこの手紙で救われたし、この手紙のおかげで少し強くなれたと思います。私も身近にいる子や、あまり普段話さない子でも、自分と同じ気持ちで悩んでいる子がいたら、力づけてあげたいし、助けてあげたいと思いました。

中3

▽中2の時の話です。学校生活で悩んでいることがあり、辛い時期がありました。その時、Cさんが心配をしてくれ、親身に話を聞いてくれました。誰かにすぐ相談すればよかった事だと思えますが、その時は、何か心に引っかかっていたものが取れた気がして思わず涙が出てしまいました。男女関係なく悩み話を聞いてくれたCさんに感謝を伝えたいです。

中3



中3

▽私は、とても肌が荒れやすい体質です。だから、いつも乾燥していて、あまり肌がきれいといえません。また、見た目がみんなと違うから、今、とても悩んでいます。最近、暑くなってきたため半袖で過ごしています。ある日の体育の時の出来事です。この時も、私は半袖で過ごしていました。でも、肌の荒れた腕を見られたくないから、ずっと手を後ろで組んで隠していました。しばらくすると、友だちが私にくっついてきました。この時、私は、何か言われるんじゃないかとドキドキしていました。でも、友だちは、私の肌が荒れていることを気にせずにくれました。そのことに気づいて、私は、とても安心して、すごく温かい気持ちになりました。私は、この友だちが大好きです。優しく、一緒にいて安心するこの友だちと、いつまでも、一緒に過ごしていきたいです。

中3

▽私は、起立性低血圧が少しあるので、急に立ち上がるとふらつとしてしまいます。それが起きるたび、友人が「大丈夫？」と声をかけてくれるので、とてもうれしい気持ちになります。「病は気から」というほど気持ちと体はつながりが深いので、気持ちを温かくしてくれる友人は本当に天使のような存在です。

中2

▽私は、今まで自分のことがあまり好きではなく、顔や見た目がもう少し良かったらいいのにとずっと思っていました。特に私は目がすごく嫌で、家族と違い二重ではなかったから、すごくコンプレックスでした。でもそのことを友だちに相談したら「私は、あなたの顔や見た目がすごく好きだからそのままでもいいよ」と言ってくれました。私は、その一言をもらえてとってもうれしかったです。

中3

▽自分は、議長というクラスをまとめる係をしています。ある日、学年集会で、クラスの取り組みの成果や課題を発表する時間がありました。自分は、人前に立つのが苦手で、いつも言葉がつまってしまいます。リハーサルの時、一緒に発表する級長（自分と同じ、クラスをまとめる係）の友だちに「ぼくも言葉が つまるのはわかるよ。一緒に頑張ろう！」と励ましてくれました。その言葉で自分に自信が持て、堂々と発表することが出来ました。その友だちも「やったね」と、一緒に喜んでくれました。友達という存在は、かけがえのないものなんだと思いました。

中1

▽私は、学校代表として主張大会に出ることになっていた。「学校を代表して」「みんなの前で発表」という責任に不安を抱いていた。みんなの前で発表し終え、翌日に本番をひかえている時だった。SNSで「誰か応援して〜」と上げると、たくさんの友だちが「お前ならいけるよ」「内容めっちゃ感動した」とたくさんメッセを送ってくれた。結局、最優秀賞を取ることとはできなかったが、結果を伝えた時、みんな「本当にすごいね」「気持ちならお前が一番だよ」と喜んでくれていた。そんな彼らは、私にとって一番の誇りです。

中3

▽私は、7人で帰っています。歩くのが速い人と遅い人で前と後ろで分かれてしまい、私は前の方で歩いていました。すると、突然、高校生の人たちが私に声をかけてきました。私も友だちも怖くて動けずにいたら、後ろにいた友だちが私たちの手を引っ張り助けてくれました。高校生に囲まれて怖い中、勇気を出して助けてくれた私の友達に『ヒーロー』だと思いました。

中2

▽その子は、感情の起伏が小さく、ずっと本を読んでいました。僕は、友達が多くて損はないというのが持論なので、その子にたくさん話しかけました。ただ、その子は忘れっぽいのか、なかなか僕の名前を覚えられませんでした。僕はその度に教えればいいやと思っていましたが、何があったのかは分からないけど、僕の名前を覚えてくれ「○○」と呼んでくれました。とても心が温かくなりました。学年が変わりクラスも違っても、その子とはとっても仲良しです。

中2

▽僕は、中字3年生です。今年もコロナのせいで運動会が中止となり、代わりにスポーツ大会が開かれました。大会では台風の目と、大縄跳びを行いました。先に台風の目を終え、クラスが疲弊しきっている中、大縄がスタートしました。大縄はクラスで2チームに分かれ、前半と後半それぞれ別に跳ぶというものです。スタートしてみると暑さもあるのでしょうか。皆、思った以上に体力が奪われていきます。僕も跳ぶ側だったのですが、体力の限界で声は出せませんでした。ですが、僕の真後ろで跳んでいたHさんは自分も辛いはずなのに一人でとても大きな声を出していました。僕は、Hさんが皆のことを鼓舞するために辛くても大きな声を出していた姿がとてもカッコいいなと感じました。また、僕もいつかあんな姿になりたいなと思いました。

中3

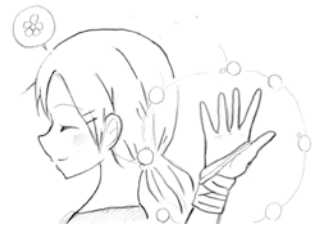
▽私は、1年生の頃、1年間級長をやっていました。前期は、みんな会ってそんなに経っていないため、自分の席について呼びかける場面が少なかったです。だから、自分の役割に困ることはなくやっていました。ですが、夏休み前や後期にかけてクラス内が仲良くなっていき、ザワザワすることが増えてきました。呼びかけをすることが増えたけれど、それに応える人は減っていました。その中で、友だちは、私が困っていることに気づいてくれて、一緒に呼びかけをしてくれました。いつも一人で悩んで困っていました。けれど、今の自分には、信用してくれている仲間がいるから、2年生になってまた級長をやっています。今は、恥ずかしがらずに助けを求めながらもクラスのみんなをまとめることができます。

中2

▽この前、階段から落ちて手首を痛めてしまいました。湿布の上に包帯を巻くような状態になってしまっただけでかなりショックでした。でも私は、自分で包帯を巻くことができなくて困っていました。すると、後の席の○○君が巻いてくれました。困っていた私のために包帯を巻いてくれたと思うと自然と心が温かくなりました。それからしばらく痛みがなくなるまで巻いていた包帯を見るたびに、うれしさでいっぱいになりました。ありがとうございます！

○○君！

中3



中3

▽私たちの学校では、火・木曜日は掃除がありません。しかし、その掃除がない日にもかかさず毎日掃除をしてきている仲間がいます。そういう周りを見て動ける姿がとてもかっこいいと思います。そんな仲間がいることで、きれいな環境で生活できていることを改めて感謝したいと思います。ありがとうございます。そして今度は私が動く番へ。このような行動が広まっていきますように…。

中3

▽ある日、夏の暑い日に友だちと下校していると、地域のおじいさんが、草刈りをしていました。おじいさんはとても暑そうで心配でした。そんな時、友だちが「今日は暑いですね。水分をしっかりとって気をつけてくださいね」と言いました。すると、おじいさんは「そっちこそ気をつけて帰ってよ」と言いました。このように声をかけられる友だちがすごいと思いました。

中3

▽クラスの子の行動で見ていて少しほっこりした話です。給食の時間、給食当番の子の分の給食を配っている子がストローを落としてしまいました。すると、そのストローをすぐ拾って、もう配ってあった自分のストローと交換していました。それを見て、自然と笑顔になりました。他の子でも、後ろにプリントをまわす時、落としてしまったら、落としていない自分のプリントと変えてあげたりしている子もいました。本人は当たり前と思っていて、意識した行動じゃないかもしれないけれど、見ている側、してもらった側からしたら、うれしいと思うし、ほっこりすると思えました。

中  
1

▽理科の授業で、ある一人の男の子が遅刻してやってきました。その子は足をけがしていて、歩くのに時間がかかってしまいます。授業は前回の授業と違うところに入っていたため、新品のプリントを使っていました。僕は後ろの班でその子のことを見ていました。すると、けがをしている男の子と同じ班のA君が、すっと立ち上がり、イスを準備してあげ、授業のプリントを取ってきました。そういう人の現状をすぐ理解し、自分にできることをすぐ行動に移していたのがとてもかっこよく見えました。普段、A君は、ふざけたり意味不明な行動をしています。そういう人でも、人のことを常に考えているのが、優しいな、かっこいいなと感じました。

中  
3

## ☆部活・クラブ

▽僕は、野球をやっています。中学3年生になり、キャプテンから一つのメールが来ました。「おれがキャプテンじゃない方が良くね？」僕はそれを見て思わずびっくりしました。そして僕は「あと少しだし、お前がそのままやらないと、やっていけないぞ！」と言いました。すると、キャプテンの〇〇が「わかった！じゃあ頑張る」と言ってくれたため自分は良かったと思えました。僕は副キャプテンだからこそ、あと少しキャプテンを支え「今のチームでやって良かった」と思えるような日々にしていきたいと思います。

中3

▽僕は、中学1年生の時、野球を辞めようと思いました。冬のトレーニングがきつくなったり、勉強が難しくなったりと、いろいろなことが重なったからです。でも、親や監督が反対して、結局辞めませんでした。辞めはしなかったのですが、練習に行く気力もなく、長い間休んでしまいました。久々に練習に行った時に、チームメイトが傷つく言葉を言ってくるかと思いましたが、チームメイトは「戻ってきてくれたのか」や「戻ってきてくれて良かった」という言葉をかけてくれました。その時、僕は、このチームにいて良かったという気持ちになりました。みんな辞めようとした人とも思わないように接してくれて、とてもいい気持ちになりました。

中2



▽私は、4年生からテニスをしています。中学に入ってからもやり続け、とうとう中学校ラストの中体連がやってきました。私のコーチは、厳しい人です。試合で負けてしまったら、アドバイスをもらえなかったり、すぐ帰ってしまったり、次の日の練習では、来てくれなかったりする恐い人でした。ですが、中体連の日だけは「楽しんでやってきてね」「もっと自信を持って打てばいい」と優しいアドバイスをくれました。いつもと違ったコーチを見て最初はある意味恐かったです。だんだん試合中の支えとなり、自信を持って打つことができました。結果、市内大会、個人戦優勝！初めてとった優勝トロフィー。あまり気持ちが追いつかず、どうしたらよいのか戸惑いました。試合後、コーチの所へ行き、コーチングを受けると「優勝おめでとう！よく頑張りました」と言ってくれました。その時、やっと自覚することができました。周りの支えがあったからこそ、今まで頑張れたなと思いました。

中3

▽私は、テニス部に入っています。ある日の試合でペアが足を痛めて、病院へ行きました。診断すると肉ばなれでした。そのため、クラブを休むことになりました。ペアが休んでいる間にも、試合がありました。私は、別の人とペアを組みました。その試合も勝つことはありませんでしたが、やっぱりいつもと違いました。ペアが戻ってきて、試合をすると安心するし、楽しかったです。ペアがいなかったことで、よりペアの大切さが分かった気がします。ペアに感謝して、テニスをしたいです。

中3

▽僕は、ソフトテニス部で、特別支援学級の子とペアを組むことになりました。初めは、お互いうまくいかず、言い合いをすることが多くありました。しかし、ペアを組んで7ヶ月経つと、その子は、僕の決めたポイントを自分が決めたかのように喜んでくれたのです。僕は、嬉しかったです。それ以来、僕とその子は、うまくいくようになり、だんだんと試合に勝てるようになりました。今では、もう友だちです。これからたくさんの思い出が作れるように日々を楽しんでいます。ていきたいと思えます。

中2

▽中体連が終わる前、私は、テニス部のキャプテンの引継ぎを先輩からしていました。まだ少ししかわからなくてみんなをまとめられず、どうしていいかわからなくて、自分を追い詰めるようになっていました。自分を自分で追い詰めていたので、苦しくて何回も泣きました。それを何回も見た母が会長さんに言ってくれて、みんなで話し合いをしました。「正直、私は、キャプテンなんてやりたくないと思っていただけ、誰もやる人がいなくて、なすりつけ合いになっていたからキャプテンをすると決めた」と話し、みんな正直な気持ちを言い合いました。すると、みんなが「私たちも協力するよ」「みんなで頑張ろう」と言ってくれて不安や心配が少しなくなり、心がほっとしました。この話し合いがなければ、私は、テニスを辞めていたかもしれせん。だから私は、会長さんと母、私を楽しませてくれるクラブの子に感謝しています。

中2

▽私のサッカーのチームメイトは、試合中に骨折をし、病院に運ばれていきました。治療が終わるとチームメイトは試合を観に来てくれました。そこで私が「今日の MVP だな」と声をかけると、すごく喜んでるように見えました。そして何ヶ月後の「ちょっといい話」を見ると、この話が載っていました。どうやらチームメイトが書いてくれたようです。何ヶ月も前の話を覚えておりに残っていたようです。自分の言葉で、こんなに喜んでくれる人がいると実感しました。これからも感謝や想いを素直に伝えようと思った出来事でした。

### 中3

▽私は、バレー部です。バレー部に所属して約2年になりますが、失敗ばかりで、試合でも足を引っ張ってしまう事が多いですが、チームの仲間は、私を怒ったり責めたりせず「ドンマイ!」「今のボールさわっただけで凄いよ!」など、失敗した私に明るい言葉をかけてくれました。私は、失敗したから落ち込むのではなく、先輩や同級生にかけてもらった言葉を大切にして、次のボールを取ろうと頑張りました。それから、バレー部全員が試合中に声を出すことが多くなりチーム内の雰囲気がとても良くなり、バレーの試合も勝つことが出来ました。それから、チーム全員が声を出し、点が取れたら全力で喜び、失敗した時には皆で声をかけて、絶対に雰囲気を壊さないようにコート内で明るく居られました。そのお陰で試合に勝っても負けても、いい姿で終わることが出来ました。これらは、全部仲間のお陰だと私は思っていて、私がとてもうれしかったです。

### 中2

▽僕が、休みの日にバスケットボールクラブで練習をしている時に、いいプレーができずにどうしたらできるようになれるかを悩んでいました。そのことを3年生の先輩に話すと、嫌な顔一つせずに「もつとこうしたらいいんじゃない？」などのアドバイスをわかりやすく優しく教えてくれました。その時、僕は、身近な思い遣りはこういうところにあるんだなと思い、心が温かくなり、笑顔になりました。その日をきっかけに自信を持ってプレーができるようになったし、この先輩のようにだれにでも優しく教えられる先輩になつていきたいと思いました。

中2

▽私は、バスケットボール部に入っています。前に、スリーメンをクラブでやっていました。私はその日、調子が悪く、全くシュートは入らないし、パスミスも多くあり、とても落ち込んでいました。その時、先輩が「ドンマイ、私も調子悪いことあるよ」と声をかけてくれました。このなげない一言で私はすぐ励まされました。先輩は引退してしまい、私が先輩となつたので、少しでも励まされるような一言を私もかけてあげたいと思いました。

中2

▽私は、ソフトボールクラブに入っていて、毎日練習をして頑張っています。ある日、学校に用事があり行くと、一人の女の子がネットに向かってボールを打っていました。その子は、私と同じチームの子でした。私は、自分自身頑張っていると思っていたけれど、もつと頑張っている子がいると刺激を受けました。この子のおかげで自分ももつと頑張ることができました。

中3

▽私は、ソフトボールをやっています。ある時の試合でミスを重ね、監督に「シヨートは無理だ」と言われ、サードに変えられました。今までシヨートとして頑張ってきたことからの悔しさやシヨックで涙が止まりませんでした。そんな時、チームメイトの一人が「また頑張つてシヨート取っちゃえ」と励ましてくれました。「もういいや」と諦めかけていた私の心を立ち直らせ、元気づけさせてくれた言葉に感謝しかありません。

中3

▽私は、陸上部で長距離をやっています。県大会出場をかけた東濃中体連が6月に行われました。この大会で6位以内に入ると県大会へ出ることができません。去年は8位で逃したので、今年が最後のチャンスでした。しかし、スタート直後のアクシデントと、自分の力の足りなさで、結果は9位。県大会出場は叶いませんでした。そんな私に大きな声で応援してくれていた同級生の仲間が静かに「おつかれ」と声をかけ、同じように県大会出場を逃していた私の後輩は、背中をさすってくれました。親さんたちにもたくさん優しい言葉をかけていただきました。「県大会出場」という夢を手に入れることはできなかったけど、大切な仲間を見つけることができ、思い出に残る悔しい日でした。県大会では、応援してもらった分、全力で応援したいです。

中3

▽私は、中2の夏から陸上部の部長をしています。中3になった今でさえ、不安と恐怖でしかありません。なぜなら、私は、人前で話すのは苦手だし、みんなをまとめるのもあまり好きではありません。一時期クラブの事でいろいろ病んでいた時期がありました。今でも、時々病む事はあります。中3の5月の大会で、先輩が見に来てくれた日があり、その時、先輩に相談すると、「ライン交換しよう!」「親同士つながっているから、追加してもらおうね。これでいつでも相談にのれるから」と言ってくれました。私は、すごく嬉しかったです。私のためにそこまでしてくれる先輩に心から感謝しています。

中3

▽2年生の時、僕の陸上部の後輩に困ったやつがいた。明るくて、先輩にも特に気兼ねなく話しかけるが、少しいいかげんで、コーチに対しての口の聞き方が悪かったり、練習の手を抜いたり、先輩に注意されてもあまり効き目がないようで不安だった。でも翌年、その子に後輩ができた時、少しずつ変わり始めた。口の聞き方は相変わらずだったが、手を抜くようなことはしないようになり、自分でメニューを考えて練習をして、陸上に対してかなり真面目に取り組むようになった。彼が、後輩にいろいろなことを教えている姿を見ると、とても安心できる。

中3

▽吹奏楽部がイベントに出た時、元吹奏楽部の先輩が見に来てくれました。演奏の後は、他の発表もあるため、片づけを早く終わらせないといいませんでした。部員があわてて片づけていると、先輩たちが楽器運びを手伝ってくれました。先輩たちは「手伝って」とは言われていません。自分たちから手伝いを行ったのです。積極的に行動していた先輩の姿が素敵でした。私は、先輩に心から感謝しています。私も自分から積極的に動けるようになりたいです。

中2

▽私は、吹奏楽部に所属しています。コロナ禍でなかなか演奏する機会がなかったのですが、最近はずいぶん演奏する機会が増えてきました。お客さんの前で演奏をし終えると、たくさんの拍手をいただきます。また、演奏を聴いた人から「よかったよ!」「また楽しみにしとるよ」と声をかけてもらいます。その言葉が私の励みになり「練習、頑張ろう」「次はもっと良い演奏をしよう」というやる気につながります。だから、私は、これからも聴いている人が元気になるような演奏をできるように、引退まであと少し、悔いのないようにやり切りたいです。

中3

▽僕がもうすぐウエイトリフティングの全国大会が近づいてきて、「緊張する」と思っていると、クラスメイトやクラブチームの人、市長さんから「頑張って」と言われたので「僕、意外といけるかも!」と、少しだけ自信がつかしました。今週の日曜日に全国大会があるので、応援してください。た方々の期待に応えられるようにしたいです。

中3

▽私は、ダンスを習っています。ダンスは、基礎・技術も必要ですが、礼儀も大切です。それがわかったのは、ある出来事がきっかけです。ある日、レッスンが始まるあいさつは声が小さかったです。すると、先生は「あいさつは、しっかりする。礼儀がない人はダンスも上手くならないよ」と怒りました。私は、先生に言われた言葉が頭から離れませんでした。「あいさつでできない!!ダンスは上手にならない」比例することが分かりました。その日からあいさつと礼儀をもっと大切にし、今、生活委員長として学校のあいさつを向上させています。礼儀はいろんな場面で必要!これを心にとめて、頑張ってください。

### 中3

▽私は、書道教室に通っています。今年で8年目。だんだん自分の字にも自信がついてきて週に一回ある書道教室は毎回とても楽しいです。その中で、同じ教室に通っている、あるおばあちゃん、毎度とっても難しい文字を真剣に書いています。私じゃ書けないような字体もすらすらと書いています。見るたび思わず目をうばわれるような作品ばかり。笑みがこぼれます。自分も将来こんな風には書けたらなあ〜と目標にして取り組んでいます。そのおばあちゃんがある日、声をかけてくれました。「お姉ちゃん、いつも見てたけど本当上手に書くね」と。その一言は私にとって本当にうれしくてたまらない一言でした。自分が目標としていた人にこんなことを言ってもらえるなんて、本当にうれしかったです。みんなが目標としてくれるくらいお手本に見えるくらいの字を書いて自分の納得できる最高の作品を作りだすのが、今の私の目標になりました。

### 中2



▽僕は、ロボカップというプログラミングをして動かす競技でサッカーをやっています。先日、大会に出た時、ぼくのロボットのタイヤが壊れてしまいました。僕が直そうとしていた時、後ろのチームの子が自分たちの予備を貸してくれました。うれしかったです。お互いに敵同士なのに、ここまで優しくしてくれて驚きました。大会の結果は、残念でしたが、他の大切なことがすべてよかったです。

中2

▽私は、小さい頃からピアノを習っています。中学1年生の秋、私はピアノの発表会に出ました。その曲は、今まで弾いてきた曲とは比べものにならないほど難しい曲でした。いざ練習してみてもなかなかうまくできず「あきらめてしまおうかな」という弱い気持ちでいっぱいでした。そんな時、家族や友だちが「絶対できる。頑張って！」と励ましの声をかけてくれました。私は、その言葉にとっても救われました。そこから、今までの何倍も一生懸命練習し、上手いかないことも少しずつ乗り越えながら、曲を最後まで弾ききることができるようになりました。本番でも、支えてくれた家族や友だちに感謝を伝えられるような練習をしてきたことを全て発揮できた発表会になりました。私は、発表会を終えて支えてくれた人たちをこれからも大切にしていきたいと思いました。また、最後まであきらめずに取り組むことの大切さを学びました。これからも「絶対できる。頑張って！」という言葉信じて、いろいろなことに挑戦していきたいです。

中2

## ★先生ありがとう

▽私が小学生の時の話です。私の家の近くには中学校があり、毎朝その校長先生が交通整理をしています。ある時、私が休んでしまいい次の日そこを通ると「昨日は大丈夫だった？」と聞いてくれました。私はまだ小学生で、その学校の生徒ではないのに覚えてくださってくれたのが温かくなりました。

中2

▽私が時間が空いた時の掃除や、問題を友だちに教えている時、先生は「ありがとう」だけでなく「気づかえる男だ」とか「優しい」など言ってくれる。「ありがとう」もうれしいが「優しい」などと言われた方が、私の内面をほめてくれていて、気がしてとてもうれしくなる。本当のほめる方法を知っている私の先生は大人だなと思った。

中3

▽私には、居ないと生きていけないぐらい好きな先生がいます。その先生は、いつでも相談ののつてくれてめっちゃおもしろい先生です。ある日、相談があつて先生に相談したら、優しく対応してくれてアドバイスをしてくれました。そのおかげで安心したし、めっちゃすっきりしました。私も友だちに相談をされたら先生みたいな対応ができるようになりたいです。

中2

▽私は今、担任の先生にたくさん話を聞いてもらっています。去年は、なかなか話すことができなかったけど、今年はたくさん話しています。いつも話すとなかなか話がそれて話せなくなる時もあるけど、いつも真剣に聞いてくれます。先生に話すと、とてもスッキリします。でもたまに何もなくて話が終わる時もあります。私は、今年の先生は、とても良かったと思います。2年生を頑張りたいです。

中2

▽私には、小学校でお世話になった、大好きな先生がいます。私が辛い時、悩んでいた時は、その先生に相談していました。私が中学生になる頃、先生は別の小学校に転勤してしまいました。中学生になり、私は友人関係や進路に悩み、誰にも相談できずにいました。そこで私は先生の勤め先を調べ、幸い市内だったため、行くことにしました。行ったら、ちょうど、目的だった大好きな先生が居て、お話することができました。悩んでいたことも楽しいことも全て話すことができました。それから半年後のお正月に大好きな先生から、年賀状が届きました。そこには「妊娠した」という先生からのメッセージがありました。すごくうれしかったし、幸せな気持ちになりました。早く先生に会いたいです。

中2

## ☆地域の人のつながり

▽僕の家マンションには、お年寄りの大家さんがいます。大家さんとは朝登校する時、下校する時、出かける時など、よく出会います。最初の方は、あいさつされてから「こんにちは。いってきます」などのあいさつをしていましたが、中学生になってからは見かけたら自分からあいさつをしています。また、下校の時などの時間があるときは、家族の話、大家さんが若い頃の話、世間話などいろいろな話をするようになりました。大家さんは、しゃべっている時「こんなお年寄りに親切にしゃべってくれるなんて君は優しいね。ありがとう」とよく口にします。そう聞くと幸せな気分になります。いつも何気なくしゃべっている時が、誰かの心を温めているんだと思うと僕の心も温かくなります。あと一ヶ月程で、住んでいるマンションから引越しをします。会う機会が減ってしまう前に残りの時間を大切にして関わっていききたいです。

中2

▽いつも野菜をくれる近所のおばさんの話です。コロナ禍で観光に行けない状態でしたが、家族で伊勢神宮に行き、おばさんに赤福もちを買ってきました。帰っておみやげを渡しに行くと「ちよつと待ってて」と言っておみやげ袋に「わかめ」をたくさん入れて返してくれました。いつもとっさに対応できるおばさんの優しさに感心するとともに、私もおばさんみたいになりたいと思いました。

中3

▽少し人間関係で辛いことがあり、何かをすることでさえ嫌になった時、あるおばさんが「おかえり」と優しい声で話しかけてくれました。その人はいつも私に「おかえり」と言ってくれますが、何て言ってもいいのかわからず私は適当に会釈をしていました。いつもは、何とも思っていないはずなのに、今は凄くおばさんの言葉が温かくうれしくて、思わず「ただいま」と言えていました。最近では、会うとあいさつはもちろん、少し話せるくらいになりました。私はこの出来事で、改めて人の言葉は凄いなと思いました。

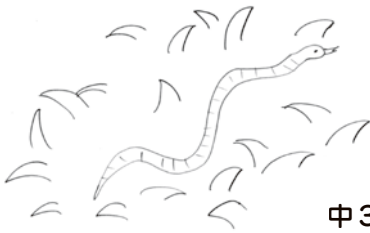
中2



中2

▽私が下校をしていた時、通学路の草を刈っている人がいました。よく見ると、その人はよく知っている人で、家もつと前にある人なので、どうしてこんなところに居るんだろうと思いました。あいさつをすると笑顔で返してください「ここら辺にマムシが居たから気をつけて」と言ってくれました。草がたくさん生えていて見えず、マムシにかまれる子供が出ないようにと、暑い中、道路の草を刈ってくださいとおじさんを見て、とても心が温かくなりました。

中3



中3

▽ある資源回収の日の話です。前の日がクラブの練習試合で、その日も午後から練習。それで早起きをして長い距離を歩き資源回収をすることになり、当時の私は少し「いやだなー」「寝たいなー」と思いながら資源回収をしていました。しかし、ごみを運んで来てくださった地域の方々が次々に、「朝からありがとう」「助かるよ」と笑顔で話しかけてくださったおかげで、大きなやりがいを感じるようになりました。今では地域がきれいになり地域の方とも関われるすばらしい活動だと思います。これからは、この活動に誇りを持って取り組みたいです。

### 中3



### 中3

▽私は、資源回収をするため、前に通っていた小学校へ行きました。ダンボールをゴミ収集車に入れる仕事だったので、張り切ってダンボールを片づけようとすると、同じ仕事をしていた大人の方が「これもらうよ」と優しく声をかけてくれ、ダンボールを持って行ってくれました。また、車でダンボールを持って来た人が「かたづけられてくれてありがとう。頑張って！」と励ましてくれました。私は、この人たちの言葉を聞いて「こんなに優しくしてくれる人がいたら、素敵だなあ」と思いました。私も、誰かが困っていたり、目の前で頑張っている人がいたら、お礼をしたり、優しく声をかけて手伝いたいです。そして環境も守り、地域・日本・世界へと、みんなが楽しく安心して暮らせるよう日々、努力していきたいです。

### 中1

▽僕は、ボランティアに参加しています。ボランティアに入ってみただけで、初めてだったので不安でした。僕にできるかどうか迷っていたけど、担当の先生が、僕が入ったことを喜んでくれたと聞いて勇気が出ました。地域をより良くするために頑張りたいです。そして地域の人々が喜んでくれたらうれしいです。

中2

▽僕が資源回収のボランティアをしていたら、地域の人が「中学生が手伝ってくれて助かるよ」と言ってくれました。気持ちが進み上げ、多くのゴミをトラックに積み込みました。すると地域の人が「中学生のおかげで早く終わったよ」と言ってくれました。僕は、これからも地域に貢献しようと思いました。

中2

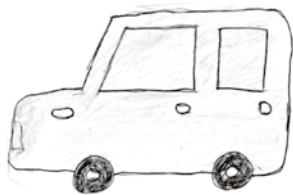
▽僕は、毎日スクールバスで登下校をしています。そのため、歩く距離も家からバス停までのほんの少しの距離です。家も少なく、地域の人と会うことも、登下校中に二人に会えば多い方です。そんなところだからこそ、僕は、地域の人に会ったら、極力声を出してあいさつしようと思っています。今日の朝、会話をしている二人の人に会いました。僕は、声を出してあいさつをしました。すると、一人の人が「気をつけて行ってこいよ」と送り出してくれました。こんな感じで、地域の人は、いつも送り出してくれます。地域の人は、家族でもなければ親戚でもありません。しかし、家族のような存在です。

中3

## おうれしい出来事

▽家族と車で出かけている時に、一台の車が溝にはまっていました。私の父と母は、すぐ車を出てその溝にはまっている車を助けに行きました。少し時間が経った時、たまたま通りかかった他の知らない人も手伝っていました。そして、五分後くらいには、溝にはまっていた車が、溝から抜け出していました。知らない人でも困っている人を見つけたらすぐ助ける父と母や他の人がすごいと思いました。私はその人たちを見ているだけでしたが、とても心が温かくなりました。私も、知らない人でも困っている人がいたら助けたいです。

中2



中2

▽私が学校で少し失敗してしまつて落ち込んでいる帰り道の途中でした。ベビーカーに乗った女の子が親御さんと、おばあちゃんと男の子と一緒にいました。その時、ベビーカーに乗った女の子が私に手を振ってくれました。初めは、とまどいを隠せなくて、どこか恥かしさも混ざつて手を振れませんでした。だけど、ずっと手を振り続けてくれるのを見て、私が手を振り返すと笑ってくれました。その後の帰り道は、学校で失敗してしまったことを忘れて心がほっこりして「振り返してよかった」と安心とうれしさが混ざつたような気持ちになりました。

中2



▽公園で遊んでいた時です。その公園の花壇に色鮮やかに花が沢山咲いています。そこに一人のおばあさんが作業するような服でやってきたのです。何をしているのだろうと思ひ、おばあさんの斜め横まで行つて問いかけました。「こんにちは、急ですみません。何をしているのでしょうか？」すると「もうすぐ花が枯れるから植え替えているの」と優しく言ってくれました。通る人たちに、おばあさんは「こんにちは」と笑顔でずっと言っていました。通る人たちも、笑顔で返していました。私は、見ているだけでも心が温かくなりました。急な問いかけにも優しく対応してくれ、笑顔であいさつする。何気ないことだけど、とてもうれしいような、幸せな気持ちになります。何気ないことでも、心が温まる、この心を大切にしていこうと思ひました。

中1



中1

▽僕が雨の中、自転車で下校している時でした。ペダルが少しぬれていて、僕は足をすべらせ、ひざから転倒してしまいました。幸いにも重傷にはならなかったものの、ひざから血が出てしまいました。それを見た近くにいた女の子が「大丈夫？」と声をかけてくれ、ばんそうこうも渡してくれました。その時、僕は、本当の優しさとはこうなんだと実感しました。僕も「気づいたら行動していた」という姿を目指します。

中2

▽富士駅12時14分発のワイドビューふじかわ5号（当時）に乗車した。途中、身延駅より、50代〜60代の夫婦が乗車してきた。後ろより3号車の自由席に乗っていた私の横の通路を、この夫婦が「あれ？」と言って通って行こうとした。手元をのぞくと指定席特急券を所持していた。おそらく券面表示の座席に人が乗っていたのだろう。初めて乗ったのか、特急に慣れていないのかわからないが、私は声を掛けることにした。「指定席は前の方の1号車ですね」と。すると、女の人が「ありがとうございます」といって、前方に移動した。別に、車掌に聞いたり、時間が経つたりすれば分かったことだろうが、鉄オタとしての知識が役に立つと思いを掛けてみた。車内で食べた駅弁はおいしかった。

中3

▽今年の夏、家族と親戚で川へ行きました。私達が楽しんでいた時に、妹と私の川ぐつが川に流されてしまいショックを受けていました。その後も探しつつ遊んでいたら、お母さんに「ちよつと来て。川ぐつ見つかったよ！」と言われ、そこへ行くと、片方のくつが置かれていました。「流れていった所の近くにいた人が気づいて拾ってくれたよ」とお母さんから聞き、私は心優しい方だなと思いました。まだ、片方見つからなまま帰ろうとした時に「これもう片方のですか？」と、さっき片方のくつを届けに来てくれた人が、もう一つの川ぐつを見つけてわざわざ届けに来てくれました。私は、その時よりもうれしい気持ちになり、心温まりました。

中2



中2

▽下校する時に、雨が降っていました。その日は、風も強くかさをさしてもぬれてしまうほどでした。しばらく歩いていると、前から大型トラックが来ました。ぼくは、もっとぬれちやうかもしれないから、かさが飛んでいかないようにしっかりと持たなきゃと思いました。すると、カーブでもないのにトラックがスピードを落として通り過ぎていきました。ぼくは、もうぬれていて寒かったけれど、少し温かくなりました。

中3

▽私が友達と映画館に行き、見終わって帰ろうとすると、となりの人がイスの上にさいふを忘れておに気づいた。となりにいた人を探してやっと見つけてさいふを渡した。するとその人は笑顔で「ありがとう」と言ってくれた。私は心から拾って良かったと思った。

中1

▽私が友達と歩いていた時に、知らない高校生の学生証が落ちていました。私は友達と交番に届けました。誰かが困っている時に助けてあげて「ありがとう」と言われて、初めて良い行いをしたという気持ちになると思っていました。でも、この日は「ありがとう」も言われませんでした。でも、これを拾ったことよって「落とし人が助かった」と思ってくれたらいいなと考え「ありがとう」も言われてないのに良い行いをしたなと思いました。「ありがとう」と言われなくても、誰かのことを思ってやれば、良い行いになるんだってことが学べました。

中1

▽学校からの帰り道で買い物カートにたくさん荷物を乗せたおばあさんがいた。最初は「重そうだなあ」と思っていた。すると、おばあさんが段差でカートを持ち上げようとしていた。でも、やはり重くて持ち上がらなさそうだった。僕は、助けるかとても迷ったけど、助けなかったら後悔するかなと思つて勇気をふりしぼつて助けに行った。カートを持ち上げて段差がない所まで運んだら、おばあさんが「ありがとう。ここまででいいよ」と言つてお礼を言つてもらえた。その時、僕はとてもうれしかった。これからも、困っている人がいたら助けようと思つた。

中2

▽私がアパートに住んでいた小学生の時のことです。裏でおばあさんが何かを燃やしていてその火が大きくなり、小屋の屋根に燃え移つて火事になりました。おばあさんは、火が大きくなつてきたころ「助けて、助けて」と叫んでいました。私も声が聞こえて、留守番中の兄と二人で下までおりてみたものの、子どもが助けに行つたところで何か変わるのだろうかと思ひ動けません。周りの人も人は数人ほどいましたが、だれも動けず、おばあさん一人で消火をしている状態でした。そんな中、同じアパートに住んでいた男性が、一階ベランダからおりてきて「消防通報するから、住所は？」と叫びながら、フェンスを越え、おばあさんを助けに行きました。その後、男性のおかげで、消防士さんが来る前に火は消えました。だれも動けない中、一人ためらいもなく動いた男性が、私にはヒーローみたいに見えました。私は、それから、困っている人がいたら、ささいなことでも動けるようにしています。

中1

▽私がテレビ番組に出演させていただいた際に、初めての出演だったため、その場にいた私たちはとても緊張していました。スタッフさんが「笑顔でね」と、優しく声をかけてくださったため、少し緊張がほぐれたような気がしました。また、ゲストさんが現場入りした時に、ちよつとした豆知識を話してくださったたり、笑わせてくださったおかげで心がとても温かくなりました。初めはすごく緊張していて上手いか不安だったテレビ出演は、みなさんのおかげで最高の思い出になりました。

中2

▽ひいおばあちゃんが亡くなりました。そして学校から帰って来ると、どこの人かは知らないけれど、家の前で手を合わせて拜んでくれていました。それを見て、こんな優しい人があるんだなと思いました。今度、もしも会ったら「ありがとうございます」と一言言いたいです。僕もみんな人になりたいなと思いました。

中1

▽私が友だちと「勉強を駅前の施設でやろう」と約束していた日に、駅でウクライナへの募金活動を行っている人たちがいました。私たちは、勉強が終わって帰る時だったので募金をしました。すると「まだ中学生なのにありがとう。あなたたちのような優しい子がいてくれて嬉しいよ」と言ってくれました。ただ私たちは、頑張っている人を手伝おうとしただけだったけれど、協力してお礼を言ってもらえて募金をして良かったと思いました。

中3

高校編



✿ うれしい出来事.....	97
✿ 部活・習い事.....	94
✿ 友だち.....	91
✿ 家族.....	89
✿ あいさつで.....	87



## おあいさつ

▽僕は、毎朝学校に行く時に、友人と待ち合わせをしているのですが、僕がそこで待っていると、近所の方が歩いてよく挨拶を交しています。ある日、僕が学校を欠席した時に、僕の友人が一人で学校に行っていると、いつもすれちがう人が声を掛けてくれたらしく「今日はあの子がいんだね。お大事にね」と言ってくれたそうです。近所の方と挨拶を交すだけでも、しつかりと見守ってくれているのだなと感じました。

高2

▽私がいつも登校する時に、3日に一回くらいの確率で、散歩をしているおじいさんとおばあさんに会います。私は、基本のご近所さんには挨拶をするので、その二人に会った時も「おはようございます」と挨拶を必ずしていました。ある日、下校中にその二人が朝と同じようなコースで散歩をしていたので、私は朝と同じように「こんにちは」と挨拶をすると、おばあさんが「いつも挨拶してくれる子やね。学校お疲れさまあ」と話し掛けてもらえ、おじいさんにも手を振ってもらえました。私は声を掛けてもらえたことも、手を振ってもらえたことも嬉しかったけど、朝の何気ない挨拶だけでも覚えてもらえたことがすごく嬉しかったです。これからもその二人に限らず「朝はご近所さんと必ず挨拶をしよう」と改めて思いました。

高2



▽私は、高校3年生です。下級生との関わりもなく、同学年や先生方としか挨拶を交わしていませんでした。ある日の下校の時です。数人の男子中学生が年齢、面識などを気にせず、当たり前のように挨拶してくれたのです。中学生の頃の私もいろいろな人に挨拶をしていたのを思い出しました。そして、もつといろいろな人に挨拶をしたいと思いました。

高3

▽春が終わり、段々気温が高くなってきました。朝、私は、友だちの車を待っていました。すると、おじいさんが私の前を通り過ぎようとしていました。私は、通行の邪魔にならないよう少し後ろに下がりました。おじいさんが通り過ぎる時、挨拶をした方がいいのか私は迷っていました。すると、「おはよう」とおじいさんの方から挨拶がきました。挨拶をしてくださってとても嬉しくなり、私も「おはようございます」と言いました。それだけでも心はポカポカしましたが、更におじいさんは「今日はすごく暑くなるからね。日傘は大切だぞ」と言ってくれました。その日が暑くなると分かっていたのですが、改めて呼び掛けてもらえると暑いから気をつけなきゃと思えました。誰か一人の呼びかけによって誰かをいい気分にしたたり、心をポカポカさせることができるのだと感じました。

高2

## ☆家族

▽いつも朝早くから、お母さんは起きて弁当を作ってくれます。いつも「何入れよう」と迷っています。でも、普段とは違うメニューで作ってくれたり、夏だったら冷たいものを作ってくれます。普段は言えないし、当たり前前だと思っていたけれど、感謝したいです。朝、早くから弁当を作ってくれてありがとう。

高2

▽高1最後のテストの時、一週間連続で夜2時くらいまで勉強していました。テストをするたび点数が下がっていたので、毎日不安でいっぱいでした。テスト前日、いつも通り夜に勉強をしているとお母さんがあったかいココアと小さめのおにぎりを持ってきてくれて、「大丈夫！できるできる！」と優しく声をかけてくれてすごく嬉しかったです。おかげでテストを頑張ることができました。

高2

▽私には、5歳の妹がいます。妹は、最近お手紙を書くことにはまっています。私にも毎日お手紙をくれます。そのお手紙には、毎回必ず「いつもあそんでくれてありがとう。だいすき」と書いてあります。どんな時でも「だいすき」と言ってくれる妹にいつも癒されています。

高3

▽私は、昔から大きな音が苦手で、梅雨の時期になると雷が鳴るので、小学校の時は、いつも怖がっていました。そんな時は、いつも兄が私を抱きしめて、小さな布団に入りなぐさめてくれました。今は、お互い大きくなって、そんなことも無くなりましたが、この時期になると、いつも思い出して、少し、ほっこりした気持ちになります。

高3

▽学校が終わり家に帰ってくると、畑でおばあちゃんが草抜きと水やりをしてくれていました。「おかえり〜頑張ったね」とヤクルトを一本くれ、一緒に座って飲みながらいろんなことを話しました。毎日の学校で疲れていた私は、そのヤクルト一本で励まされ、今日も頑張った良かったと明るい気持ちになりました。おばあちゃんと飲むヤクルトは特別なものになりました。

高2

▽私には、少しだけ遠い所に住んでいるおばあちゃんがあります。最近、足の調子が悪く、明日から手術をすることになりました。おばあちゃんが心配な気持ちになつていて、私は電話をかけました。すると「大丈夫！最近暑いから水分とって体気をつけてね」と言いました。おばあちゃんはいつもこう言います。自分の体調が悪くても必ず私を心配してくれて、元気をあげようと電話したはずが、いつも元気をくれます。私もおばあちゃんのような優しい人になって周りに元気を与えられるようになりたいです。

高2

## ☆友だち

▽ある日の昼休み時間の話です。私は月に一回、友達と環境美化委員の仕事で、コイにえさやりをやっています。私の学校は今の時期、あじさいがきれいにさいているので、私は友だちに「池の奥にあるあじさいを見に行きたい」と言いました。奥に行ってみると、そこにはクローバーがあつて、友だちの二人は四つ葉のクローバーを見つけました。自分が見つけたわけではないけれど、見つけて喜んで二人を見て、私もとても嬉しい気持ちになりました。

高3



高1

▽コロナ禍ということもあつて、2年程会えていない小学校からの同級生の友だち。誕生日を祝うメッセージを送ったところ「会いたいね。今年の夏休みは遊ぼうね!」と返信が来ました。コロナで実現できていないけれど、長期休暇の度に遊びに行く約束を立ててくれる友だちに毎度、嬉しさを感じて心が温まります。なかなか会えない中でも、私のことを思ってくれる友だちに感謝でいっぱいです。メッセージを送り合う度、友だちでいて良かったと感じます。今年の夏休みこそコロナも落ち着いてきて会えそうなので、とても楽しみにしています。会いたいと思ひ合える友だちがいることが、私の「ちよつといい話」です。

高2

▽今年で中学校卒業後2年目になり、当時の友だちと会う機会も少なくなりました。しかし、あの日の学校の帰り、駅のホームですれ違っていると、大きく手を振り、声を掛けてくれました。そこで何気ない会話も思い出になって、改めて友だちの大切さに気付くことができました。

高2

▽私は、小学校6年生の時、引越してきました。初めは、初めての経験で、とても緊張していたのですが、クラスの子が近寄ってきて笑顔で話し掛けてくれました。一気に緊張もほぐれ、だんだんクラスになじめるようになりました。その時、話し掛けてくれた友だちは、高校3年生になった今でも仲の良い親友です。その子がいなければ、私は、クラスになじめなかったかもしれない。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

高3

▽ある時、私はちよつとしたことで悩んでいました。それは、他の人にとっては嬉しくて良い事だけれど、私にとっては悲しく良いこととは思えません。他の人にとっては良いことなのに悲しんでいる自分もすごく嫌でずっと悩んでいました。そんな時、同じように悩んでいる子に話を聞いてもらい、共感してくれました。誰にも相談できなかったので、話を聞いてもらえただけですごく救われました。その上、その子は私を励ましてくれました。同じように辛いはずなのに励ましてくれたお陰で気持ちが軽くなりました。その子のように誰かを励ませる存在になりたいと思いました。

高2

▽中学校1年生の春、数人で話をしていた時に、私は人見知りで会話にうまく混ざられませんでした。その時に、一緒に話していた男の子が、わざわざ私の好きなマンガの話をして「○○だよね？○○さん」と話を振ってくれました。私の好きなものを覚えていてくれたことも、私が会話に入れるように話を振ってくれたことも嬉しかったです。

高3

▽私は、よく悩みを持ちます。その時は、ある友だちに相談します。その子は、普段ノリも良く、ふざけているイメージがとても強いです。でも、私が相談すると、いつも真剣に最後まで話を聞いてくれます。そして悩みを軽くしてくれます。いつも必ず「大丈夫。私はいつでも味方だから。いつでも頼っておいで」と言ってくれます。友だちが少ない私にとってその言葉は、とても心を救われます。これからは、私が友だちにとって心が救われる存在になりたいです。

高3

▽私には、とても仲が良く、親友だと思える友だちがいます。その子とは、高校が離れてしまい、中学生の時に比べて、会える日がとても少なくなっていました。しかし、私の誕生日の日に手作りのアルバムを作ってくれました。中を見た瞬間、私はとても嬉しい気持ちでいっぱいでした。アルバムには、今まで撮った写真や、プリクラなどがデコレーションされていて、手間と時間をかけて作ってくれたんだと感じました。感謝の気持ちと、大好きだという気持ちになったし、もっともっと友だちを大切にしていこうと思いました。

高2

## ☆部活・習い事

▽私は、勉強と両立してピアノを習っています。今年で9年目になりますが、年に一回あるピアノの発表会は毎度緊張してしまい、上手に弾けません。「練習の時や、発表会前日までは上手く弾けているのに：」と悲しくなり、自分が嫌になることもあります。そんな時、私を助けてくれるのが同級生の言葉です。「あなたなら出来るよ」、「そんな気張る必要ないよ。私だって失敗するし」など、励ましてくれます。その言葉があったからこそ、本番でも逃げずに立ち向かうことが出来ました。また、終わった後、自分では下手だと思っても「上手だった」と褒められると嬉しくなります。だから私は、今でもピアノが続けられます。今、私は緊張している子が和むような言葉がけを意識しています。私が温かく、嬉しい気持ちになったように、今度は、私がその温かさや優しさを分けてあげられるような行動をしていきたいです。

高2

▽今、私は高校2年生で、弓道部に所属しています。3年生の先輩が引退して、私は部長になりました。元々、人をまとめることが得意ではないし、最近は、的中率がなかなか上がりず悩んでいます。そんな時に仲のいい先輩が「3年生は〇〇さんが頑張っているのを知っているから部長に選んだんだよ。だから、最初は大変かもしれないけれど、自分たちもサポートするから大丈夫だよ」と声を掛けてくれました。この言葉のお陰で私は、今も部活を頑張っています。

高2

▽中学3年生の時、部活の部長をやっていました。その年から顧問の先生が変わり、新しいルールなどが増えて、自分のやり方があっているか分からずモヤモヤしていたけれど、引退の時、顧問の先生が「部をまとめて引っ張ってくれてありがとう」と声を掛けてくれました。すごく嬉しかったし、続けて良かったと思いました。

高2

▽陸上の大会の4×100mリレーの時、僕がバトンミスをしてしまい、良い記録が出なかった時に、一緒にリレーに出た3人が「気にすんなよ。次、頑張ろう」と言ってくれたり、部活の仲間が励ましてくれて、とてもうれしかったし、みんなのためにも次の大会を頑張りたいと思いました。そして、次、誰かがミスをした時は、その人を励ませる言葉を掛けたいです。

高2

▽私は、バスケットボール部に所属しています。試合になかなか勝てない強いチームですが、毎日みんなで一生懸命練習しています。ある練習試合の日のことです。よく対戦する学校との試合で、いつものように負けてしまいました。しかし、練習試合が終わった後、相手の学校のコーチに「うまくなったね。これからもまだまだ強くなるよ」と言われました。練習をがんばってもなかなか勝てないとガツカリしていた私たちに、「強くなっているんだな。もつとがんばろう」と気づかせてくれた言葉でした。これからもたくさん練習して、もつともつと強くなりたいです。そして、勝てなかったその学校にも勝てるようになりたいです。

高2



▽私は、女子バスケットボール部に所属しています。そんなある日のことです。部活で思うようなプレーが出来ず、負けず嫌いな私は悔しくて涙が出てしまいました。そんな時、同じチームの仲間から「○○は、自分に敵しくしすぎ。私にはそんなのなくて尊敬しちゃうけど、自分に自信持ちな」と声を掛けられました。些細なことだけど、私はそれがとても嬉しかったです。言葉って魔法だなと思いました。

高2

▽私は、中学生のとき、バスケットボールのクラブチームに所属していました。先日、そのチームの練習を手伝いに来てほしいと言われ、練習に参加しました。練習が終わった後、お母様方に「来てくれてありがとう。またよろしくね」と声を掛けていただきました。とても小さなことかもしれませんが、すごく嬉しかったです。私も、感謝をしつかりと伝えることができる人になりたいと思いました。

高2

▽引退してしまった部活の先輩から、手紙をもらいました。その内容が「初めは仲良くなれるか不安だったけど、たくさん話して今では何でも話せる仲になれて嬉しい」と書いてくれました。2年生は二人しかいなくて、先輩と仲良くできるか不安でしたが、先輩からこんなに嬉しい言葉をもたらえて、とても嬉しかったです。

高2

## おうれしい出来事

▽中学2年生の時、自分と友だちで電車に乗って愛知の方まで行きました。高蔵寺ぐらいで目の見えない人が入ってきました。自分たちは、座っていた座席をその目の見えない人に譲り、名古屋まで行くところ、高蔵寺で下りて観光をすることにしました。名古屋駅に着いた時、偶然さっきの目の見えない人に会いました。僕たちを見つけてその人のつきそいの人が頭をさげてくれました。とてもいい気持ちになりました。

高3

▽ある日、電車を乗り過ごし、次の電車が来るまで駅近くのベンチに座って待っていた時、犬の散歩をしていたおじいさんが話しかけてくれました。冬で日暮れが早く、少し暗い時間だったため心配して声を掛けてくれたそうです。そのことを聞いて瑞浪の人たちは優しい人なんだと思いました。

高3

▽僕は、通学中にコンビニへ寄ることが多い。その日も昼食を買うために、いつものコンビニに行った。買う物を決めてレジへ行くと、店員さんが「いつもありがとう」と話しかけてくれた。あまりにも急だったから、ぎこちない返事しかできなかったけど、嬉しくなって、いつもより歩幅を大きくして学校へ向かった。

高2

▽学校帰り、友だちとコンビニに行つて商品を見ていた時、外国人が、数人店に入つてきて商品を手に取り、私たちのいるところに向かつて来ました。そして「このパンおいしい？」と聞いてきました。私たちはびっくりしたけれど「おいしいですよ！」と答えると「買う！」と笑顔で言い、お会計をしていました。とてもフレンドリーで楽しく会話ができて良かったし、お会計の後に私たちのところへ来て「ありがとう」と言つて帰つていきました。とてもいい人だなと思つたし「ありがとう」と言われてうれしくなりました。

高3

▽私の地域にネパールの方が引越して来ました。話す機会があつたのですが、相手の言いたいことや、私の伝えたいことがなかなか伝わらずに上手く会話できずに終わつてしまいました。私は、少しでも話がしたいと思ひ、ネットでネパール語の「ありがとう」を調べ言えるようにしました。後日会つた時に、ネパール語でありがとう「ダンニイバ」と伝えるとすごい笑顔になつてくれました。感謝の言葉はどこの国でも人を笑顔にさせる力があるんだなと思ひました。

高3

▽1年生の時の家庭科の先生は、足が悪く、いつもしんどそうに歩いていました。初めの授業で「見かけたら荷物を持ってくれると助かります」と話していたけれど、なかなか手伝えずにいました。そんな時、同じクラスの子が先生に声を掛けて3階まで荷物を持って行ってあげていました。その子のように思いやりを持って行動できる人になりたいです。

高2

▽私が小学生の時の話です。学校から家に帰っている時に、家の近くの排水溝に足が入ってしまい、びっくりして泣いてしまいました。その時に、隣の家のおばさんが「大丈夫？」と優しく声をかけてくださり、助けてくれました。私の汚くなってしまった靴も洗ってくれてすごく嬉しくなりました。その出来事があった日から、私も困っている人がいたら、手伝おうと強く思いました。

高2

▽私が小学生の時、同級生の女の子が横断歩道で止まってくれた車に、帽子を取ってお辞儀をしていました。私もその姿を見て真似するようになりました。高校生になった今でも、止まってくれた車には必ずお辞儀をしています。さりげないことだけど、何年経っても続けていきたいです。

高2

▽私が学校から帰っている途中、歩道の近くで草刈りをされている男性に会いました。そこはとても草が多く、登下校の時に歩きづらいと思うことも多くありました。その男性はとてもきれいに草刈りをされていたので、感謝を伝えたいと思い「草刈りありがとうございます」と私は言いました。するとその男性は「いえいえ。暑いから水分取って気を付けて帰りいね」と温かい言葉をかけてくださいました。私は感謝を伝えて良かったと思いました。私も地域のために行動できるこの男性のような大人になりたいです。

高2

▽私が夏休みに塾に行く途中、おばあさんが声を掛けてくれて「べっぴんさんやねえ、きゆうりあげよか？塾頑張ってね」ときゆうりをくれた時がありました。夏休みに塾へ行くという辛さで気分が落ちていた時に、おばあさんからの励ましの言葉とプレゼントでやる気が出ました。顔見知りでもないのに優しい言葉を掛けてくれて、とても温かい気持ちになりました。

## 高2

▽私が高校へ登校する道の途中には、狭く、すごく急な坂道があります。その坂道は、冬の雪が降る日には凍ってしまい、滑ったりします。暖かい季節には、坂道の途中に草が生えていたりもします。昨年の雪が降っていた日、今日も坂道は凍っていて危険だろうから学校休みたかったなと思いつつ登校していました。坂道へ着くと、道は凍っておらず普通にいつも通りに登ることができました。後から友人が、近所に住んでいる人が、坂を登りやすいように雪かきをしてくれていたと教えてくれました。暖かい季節には、坂道の近くに生えている草が成長し、道にかぶってしまうことがあります。誰か、草抜きしてくれないかなと思いつつ登校していくと、帰りには、草抜きがされ道が通りやすくなっていることが何度もありました。どちらのことも同じ人がしてくれているのか分らないし、どんな人なのかもわからないけど、この坂道を通る人の為にしてくれている事なのかなと考えると、すごく心が温かくなり、今日も頑張ろうとか頑張って良かったと思います。自分の為だけじゃなく周りの人について考えられる素敵な大人に私も将来なりたいたと思います。今日も、感謝の気持ちを込めて坂道を通ります。

## 高2

一般編





中2

▽ワクチン接種が進んでいない一年以上前、国道19号の地下道には、多量のゴミがあった。地下道は、風が入りやすくゴミが溜まる。「この地下道は、通学路になっていて大変に見苦しいから」という理由で、ある方が、定期的に清掃活動を行ってくださった。当時は「コロナウイルス感染症による重症患者や死亡者が多数存在していて、ゴミにコロナウイルスが付着していて危険である。ワクチンもまだない」と言われ、活動を止めさせようとする意見も多かった。その方は「周辺住民が道路を愛する気持ちさえあればゴミだらけになる。まちを愛する気持ちも失う」と言われ、清掃活動を続けている。

50代

▽会社を退職して、家でのんびりと過ごしていたところ、地域での役をいただきました。ある日、会議に参加し、1時間ほどの講演を久しぶりに聴きました。会議が終わり、頭がパンパン状態です歩いて入口のところまで来ると「○○さん：何で声を掛けてくれないで帰ってしまうのですか…」と両手を上にあげて元気一杯に寄って来てくれる後輩がいました。自分の仕事が忙しいのに、私の姿を見つけて席を立てて声をかけてくれた後輩の姿から、元気と笑顔とエネルギーをいただきました。そして、一緒に仕事をした時の思い出話をしました。昔を懐かしみ「良い時代だったね…」と話に花が咲き、心が温かくなる時間が流れました。仕事の邪魔をしてみました。私の方から後輩に労いや励ましの言葉を掛けるべきだったのに…と。体中から「うれしい」「ありがとう」思える瞬間でした。今度は、私の方から声を掛けますね。

60代



▽小学生の通学路となっている県道沿いにあるうちの仕事場は「子ども110番の家」になっているせいか、以前は小学生低学年の子供たちがよく「すみませーん、トイレかしてください」とやって来ました。小さな訪問者は、なぜか日ごとに増えて、付き添いの子供たちも一緒に来るようになり、最後はほぼ職場体験探検ツアーのように。仕事場は、トラックが入ってくることもあり小学生にとって安全とは言えず、しかたなく妻は学校へ「トイレを貸すのはいいけど…」と連絡を入れました。翌日から子供たちは、びたりと来なくなっていました。なんとなく寂しい思いをすること数年、先日久しぶりに「すみませーん、トイレかしてください」と小学校高学年の男の子の訪問がありました。きつとこの子は、1年生の頃にうちのトイレを借りたことがあってそれを覚えていてくれたんだなあと思うと、ここ数年のなんとなくの寂しさも吹き飛びました。

60代

▽入学式の翌日、お母さんと一緒に下校する新一年生の姿がありました。彼は、入学を機に大きな街から、お父さんの地元に越してきたのです。道路から30m離れた畑にいた私は、思わず「こんにちは」と声を掛けました。すると、彼は私を見つけて、とっても大きくて元気な声で「こんにちは」と返してくれました。お母さんも深々と何度もお辞儀をされました。その二人の姿に私は、ほっこりうれしくなりました。彼の名前を早く覚えてこれからも声を掛けるからよろしくね。

60代

▽給食大好きな孫は、ほぼ毎日、私の娘である母親に「豚汁と高野豆腐の煮物がおいしかった」とか「イカ天の薬味ソースがネギとにんにくが効いていい」など、その日の給食のおいしかった報告を妹とするそうです。もうすぐ中学を卒業するので「あと何回しか食べれん」と寂しい言葉も聞きました。健康な心と身体は、おいしいごはんを食べることで保たれます。家庭での食事はもちろんですが、学校でのおいしい給食で、孫は心を満たされていたと思います。9年間おいしい給食を食べられて良かったね。給食センターの皆様、いつもおいしい給食をありがとうございます。

70代

▽瑞浪に引越してくる前の話です。1歳の子を連れてスーパーに買い物に行きました。子どもは眠かったのか機嫌が悪く、買い物をはじめるとすぐに泣きわめき始めました。(後でわかったのですが、乗ったカートが自分の一番乗りしたいキヤラクターのものではなかったのが原因だったようです)必要な物だけさっと買って帰ろうと急いでいたところ、中年の女性が私に暴言を吐いてきました。こんなに泣かせているのは虐待だと。そんなことを言われたのは初めてで、日頃張りつめていた気持ちがプツンと切れて、私も涙が出てきてしまいました。その後、とても優しいおばあさんが泣いている子どもを気にかけて話し掛けてきてくれました。私の涙にも気づき、一生懸命慰めてくださり、何分も話を聞いてくれました。とても悲しい出来事と、とても嬉しい出来事が同時に起こった一日でした。

40代

▽4歳の孫が誕生日を迎えた。夕食後に祝福しようと電話をかけた。孫に「おめでとう」と言うのと、素っ気ない声で「ありがと」と返して、テレビに気持ちが奪われてしまったようだ。すると10歳になる初孫が話をつないでくれて、元気な様子を伝えてきた。その時に、伝えなかったことを言おうと思つて「○○ちゃん、お誕生日は、父ちゃんと母ちゃんに『ありがとう』を言う日だよ。まだ分かるのには、ちよつと難しいかもしれないけれどね」と言つてみた。すると「もうね、朝、父ちゃんと母ちゃんに言つたよ」と意外な答えが返つてきた。○○が朝のうちに弟に教えたようだ。「○○ちゃん、すごいね。爺ちゃんが小さい頃、そんなこと言えなかったよ」すると「なんで爺ちゃんは言えなかったの？」との質問に戸惑つてしまった。孫たちには誕生日のたびに、誕生日は親に感謝する日とは言つてきたが、実際に言つてくれたことが嬉しかった。教えたいことが、どこまで伝わるかはわからない。しかし、根気よく教え、伝えてみることは大切ではないだろうか。

70代

▽知人との会話の中で「家族つて何だろう？」と問いかけられました。私は、すぐ答えることができずにいました。家に帰り、夫に「家族つて何だと思う？」と同じ質問をすると「かけがえのないもの」とすぐ答えが返つてきました。普段、自由気ままで家族のことなど考えていなさそうな人から思いがけない言葉を聞き、びっくりしたのと同時に、そんな風に思つていてくれたのかと嬉しい気持ちになりました。私も、かけがえのない家族を大切にしていきたいです。

50代

▽知人の方が、すべての用途に使用している一本の大切な印鑑を失くして一ヶ月近くなり大変困っているとの話をされました。その時、私も今までに「印鑑」「書留」その他、いろいろな大切な物を見失って困った時にお願いをして助けていただいた「稻荷様」のお話をしました。今までに、多くの人たちがこの「稻荷様」にお願いをしてどれほどの方々が助けられたかを…。

「稻荷様」は鶴ヶ城の山頂に祀られております。この度も本当にお困りの方の願いをお聞きになりお手元に。大切な大切な印鑑が、あれほど家族共に毎日探しても無かったのが、ふと手を伸ばしたところにあつたとか。まるで夢のようだと大喜びでお礼の電話をいただき私まで夢ごこちでした。

80代

▽コンビニの出入り口近くの信号機の所で、私の前の車と、一台半分位の間隔を置いて止まっていたら、コンビニから出て来た中高年の男の運転手さんが、笑顔と右手を上げて私の車の前に入られました。私は「はいどうぞ」と、軽く会釈しました。信号が青になり、私も続いて交差点を直進していたら、前の車のハザードランプが点滅したのでびっくりしました。入られる時の合図と笑顔で充分だったのですが、改めて、うれしく思いました。バックミラーを見たら5〜6台は、連なっていたので、買い物をして急いでみえたのかもしれない。同じことをしても感謝の気持ちの合図は無く、当然という無表情の運転手さんも沢山みえるので、二度の感謝は、私も心がほっこり、嬉しかったです。

60代

▽我が家には、大ざっぱに予定を書き込むカレンダーがある。だいたいは、不燃物や病院のアップなどのリマインダーだ。そのカレンダーの12月17日に、小さなハートマークが書かれていた。特に思い当たることがないので、のぞき込んで見ると、小さなハートマークが書きこまれていて、その中に小さな文字で「お肉」とあった。アツ、そういえば、その日は特別に学校からお肉をいただけることになっていることを思い出した。学校は、私たち教職員に気を遣って、早めのクリスマスプレゼントとしてのコロナ禍のねぎらいだ。以前、そのことを妻に伝えていて、カレンダーに書き込んでいたのだ。家庭のことをほとんど任している妻のささやかな喜びが、ハートマークとお肉の文字に読み取れた。食事を一身に請け負っている妻のささやかな喜びがあった。幸せは、こんなところにある。ほのかな温かみを感じた。

70代

▽今年の4月からボランティアで朝7時から8時迄の1時間、黄色の帽子、ジャンパー、交通安全旗を纏い、交通安全の街頭指導を毎月一回行っています。正直な気持ち、あまり気が進みませんでした。行き交う車のドライバーの「おはようございます」の会釈、小学生のハキハキとした「おはようございます」の挨拶、横断歩道は、右手をあげて渡り切ると、私たちに「ありがとうございます」と会釈をする。そのマナーの行き届いた、交通安全に対する強い意義を理解し、実践し、感謝の気持ちも忘れない対応に、まだまだこの町も捨てたもんじやないと嬉しさがこみ上げ、身の引き締まる思いです。来月からも頑張ろうと思います。

60代

▽23年と4ヶ月乗り続けた車と昨日お別れした。走行距離も20万キロを超えて、ずいぶんお世話になった。この車が新車で我が家に来た頃は、長男が中学3年生、次男坊は小学6年生、末っ子の娘は小学3年生だった。それが今では、皆、社会人としてそれぞれ活躍してくれている。孫も三人できた。この車で東北から九州までの日本のあちこちへ家族を乗せて走った。思い出が満載している。事故を起こしたこともなく、大きなトラブルとは無縁であった車だが、車体には擦り傷はあった。洗車をしてワックスをかけたのは2ヶ月に一回程度だったが、愛車が20年を超えた頃から特別な感情を抱いた。車体を洗いながら、70歳になった自分の体を投影している思いがした。新車の到着と同時に愛車は引退した。別れる直前にせめてものと車体を洗い、長年のご苦労に応えた。ぴかぴかとはならなかったが、これまでお世話になった気持ちも込めた。23年もありがとう。

70代

▽私は、久しぶりに電車に乗り少し緊張していました。20分程して、いくつ目かの駅で小さな男の子を連れなお母さんが乗車してきました。電車は、立っている人もいて混んでいたのですが、近くの若い女性が「どうぞ」と声をかけ席を譲りました。そのお母さんは、素直に「ありがとうございます」と言って男の子を座らせていました。座った男の子は、お母さんを見上げてニコニコとうれしそうでした。声をかけて遠慮されると逆に困ってしまいますが、素直に応じられていて、その光景がすごくいいなと感じました。私の緊張もほぐれてほっこりしました。

60代

▽この頃、赤ちゃんの顔を見ることがあまりないですね。市内にも産婦人科もなくなり、なんて淋しいことになっちゃったのか。でも、私には、嬉しいことがあります。毎日のわずかの私の散歩コース。すぐ隣の班に、去年9月、そして今年の1月、3月と三人もの赤ちゃんが生まれ、散歩中、時々赤ちゃんに会えること。赤ちゃんは、もちろんかわいい。そのお母さん方ももちろん若くて優しく、かわいいばかり。不自由な体の私は、長生きしてこの赤ちゃんたちの成長を楽しみに頑張っています。今日も「もしかして会えるかも」と楽しみにして、二本の杖に助けってもらって散歩に出かけます。

80代

▽私は瑞浪市の講座に通っています。今住んでいる家が立ち退きになり、瑞浪市に住みたいと思っていて、そのことを講座を受けている人に話しました。すると後日、電話があり「今日時間があるので、土地を一緒に探してみようか」と言ってくださいました。土地勘の無い私を助手席に乗せて下さって一日中探してくださいました。私は、とっても嬉しくて、感謝の気持ちいっぱいその夜は眠れませんでした。どなたも優しく、私の大好きな瑞浪市の一員に早くなりたいです。

70代



▽バスツアーの時の女子トイレは、いつも長い列ができてしまいます。トイレは、6ヶ所あって、先に済まされた人が「ここトイレトペーパーが無いですよ」と伝えて下さったのを聞いて、次に入られる人が、自分の入る所にトイレトペーパーの予備があるのを見つけて「これどうぞ」と言っ、私の前の人に手渡されてから入られました。前の人は、トイレトペーパーを持って他の所へ入られたので、次は私の順番ですが「えっ！空いている所がトイレトペーパーの無い所？どうしよう」と思った瞬間、私の前の人から出て来て「そこが、ペーパーの無い所だったね。はいどうぞ！」と言っ、トイレトペーパーを手渡して下さったので「ありがとうございます」と感謝の気持ちで一杯でした。その時のナイス連携プレーは、私の旅の忘れられない思い出のひとつになりました。

60代

▽コロナ禍の緊急事態宣言中に、テニスの壁打ちに出かけた。市営のコートが借りられないからだ。すると、コートのはるか手前に鉄柵が設置されていて「侵入禁止」の看板が掛けられていた。以前の宣言中には、壁打ちはできたので、そこまでしなくてもいいじゃないかと不満を抱きながら岐路についた。後日、その話を友だちにしたところ、彼はコートからかなり離れた駐車場に車を止めて、コート前の空いたスペースで、毎日欠かさずに素振りをしていと教えてくれた。私は、たった一回のことで、再びテニスの壁打ちに行くことはなかったが、上には上がいることを知った。何かを成し遂げる人とはこんな情熱を持った人ではなからうか。

70代



▽これは、ちよつとではなく、かなりいい話です。今年の夏休みに、家族全員がコロナに感染しました。ずっと感染予防をし、気をつけてきていたので、とてもショックでした。子どもが特に症状が重く、40度を超える高熱と、症状が始めの頃は、何度もおう吐し、微熱に下がってから起き上がれず、自分も微熱とけん怠感で辛かったです。子供の辛そうな顔を見るのが本当に辛かったです。私と夫の両親や弟が、心配してすぐ食べられるゼリー等を玄関先まで持って来てくれて、10日間の待機期間中、買い物も行けなかったので、必要な物を買って来てくれてとても助かりました。感染を伝えたご近所さんやママ友も「買い物行くから言ってね」と連絡をくださりありがたいと思いました。中でも、他人事じゃなく、誰が感染してもおかしくない状態だからと電話をくださり「大丈夫です」と伝えても、三日連続でお仕事の帰りに玄関先まで果物やゼリー、パン等を届けてくださったママ友がいて、メールで体調や何かお手伝いできることがないかと聞いてくれました。体もしんどく、心も弱っている私たち家族に、沁みるような優しさをくださり温かい気持ちに感激し涙が出ました。これからも大事にしたい、仲良くしてもらいたいご家族だと感じ、私も人に優しく手を差しのべられる人になりたいと思いました。

40代

▽どなたかは分かりませんが、職場の御手洗いに花を飾ってくださる方があります。すてきな花器に、季節の草花。アート作品のようで、気持ち豊かにしてくれます。活けてくださる方のご厚意に、感謝しています。

40代

▽我が家は、ペチュニアの花が庭の空き地に密集して咲き誇っています。苗・種で植えることな  
く冬を超えて、春には多く咲き、その花の色の違いの微妙な花柄に、どうしてこんなにも次々と  
変わった色を咲かせてくれるかと思っていました。正体は、どうやら蜂が蜜を求めて花から花へ  
と交配し、新品種として作りだされたものと知りました。蜂の自然の営みにて、数十種の花を咲  
かせてもらい、感激しております。人間がこれだけ多くの花の色種を作り出すのは大変なバイオ  
の領域なりと我が家に新種の花を咲かせてくれる蜂さんに「ありがとう」と伝えたいです。

80代

▽新聞の記事で、明世小学校の生徒が夏休みに友達と自ら進んで毎日歩いてゴミ拾いをしたとい  
う記事を見た。コロナ禍で落ちているゴミに触れる、拾うことに少し抵抗を感じるが、そんな中  
でもゴミを拾い、自分たちの通学路や街をきれいにしようという考えがすごいなと感心した。自  
分の子どもも、そういう優しい心を持って育ってほしいと思った。

〇代

▽子どもが小さい頃、子どもと二人で昼寝をしていると、いつも犬が中に入って来て川の字で寝  
ることがしょっちゅうでした。いつしか子どもも大きくなり、たまたま私と子どもが昼寝をして  
しまっていたら、何年かぶりに同じように寝ていて、犬も忘れていなかったのだと、ついほほえ  
ましくみえました。

40代

▽今年4月5日の夜中に、私たち（私と妹）の大切な母親を亡くし、3日間お休みしました。タバタとお葬式と火葬を終え、4月7日は精神科の診察でした。その次の月曜日にヘルパーさんに来ていただいた時「親が我が子に望むしあわせ」についてお話ししました。するとヘルパーさんは「そうだよ。それが無償の愛なんだよ」と言ってくれました。亡くした悲しみも手伝って、しばらくその方にぎゅっとハグしていただいて泣かせてもらいました。その言葉は、今でも忘れられない一言です。ヘルパーさん、本当にありがとうございました。

40代

▽子どもは夏休み。でも大人はいつもの日常があります。お買い物、仕事、病院、歯医者、送り迎え等、留守番が不安な時に、友だちに相談すると快く預かってくれたりして本当に助かります。これからも預かったり、預かってもらったり、つながりのある友だち付き合いをしていきたいと思えます。

〇代

▽学校や地域の「役員決め」。なかなか次の引き受け手がなく、断られ続けて困っていた時、すでに役員経験者のAさんがやって来て「よかったらやるよ」と声を掛けてくれました。心遣いが本当にありがたく、やさしさが心に沁みしました。

40代

▽短時間勤務の期間も終わり、すっかり遅くに帰る日ばかりになり、子供の宿題や部屋の片付けで日々過ぎていました。語り合う時間は減り、まだ幼い彼女たちにあれこれと注意をする声ばかり増えていく自分がつくりとじていました。なんて子供にさみしい思いをさせているのだろうと。そんな中で、上の娘は、教えたばかりのコーヒーマシンの淹れ方で、毎日せっせと用意して、とびきり美味しいコーヒーマシンの牛乳を作って、遅く帰宅する私の夕食セットと一緒に置いてくれました。顔を合わせば、とびきりの笑顔で「おいしいでしょう」と嬉しそうに話しかけてくれました。本当に甘さも丁度よくて、疲れた身体に染み渡る美味しさでした。やさしく育ってくれてありがとう。

40代

▽スポーツジムで知り合いになった外国人の方が、ひらがな・カタカナはわかるけれど、漢字が読めなくて困っていました。そして「アルバイトの書類の漢字がわからないから教えてほしい」と頼まれました。普段の会話は、どうにかできていたので、私には60代の彼女の気持ちに気がつかなかったのです。氏名、生年月日、現住所、希望欄などゆっくり話しながら丁寧に鉛筆で薄く書き方も教えてあげました。彼女は、本当に嬉しそうに喜んでお礼を言ってくれました。こんな小さなことで、人様のお役に立てることに「フツ!!」と喜びを感じました。

70代

▽和歌山からのプレゼント

私の住む町内、インターの入口右横に一本のモミの木があります。毎年冬になると、美しいイルミネーションが輝いていましたが、年々数を減らし、2021年の冬には一本の小さな光となってしまいました。子供たちが「なんか寂しくなったねえ」と言う声を聞き、明世町有志の方たちが、春日井まで出掛けイルミネーションを探したものの、この年は世界中の半導体不足の

為、お店から家庭用イルミネーションが消えていました。家庭に眠っているイルミネーションを譲っていただける方を探すもなかなか見つかりませんでした。そんな時、姉から「和歌山の妹に聞いてみたら？」と言われ電話したところ「あるよ！どんなに捨てようかと思っただけじゃないけれど、もったいなくて捨てられなかった。瑞浪で飾っていたのだったら送るねえ」と早々に大きなダンボール箱3箱に、ぎっしり詰まったイルミネーションが届きました。そして、有志の方たちが、モミの木いっぱい飾り付け、点灯式の日、おじいさんに連れられて来たお孫さんが「おじいちゃん、綺麗だね！」の声に「和歌山の方にお礼を言っていたきたい」とのうれしいお言葉をいただきました。妹に「ありがとね。皆がとっても喜んでくれたよ。写真も撮ったよ」と話すと「あのね。まだ大きな雪ダルマとトナカイがあるの。コロナが落ち着いたら、瑞浪へ車で持って行くから待っててね」との事でした。一日も早くコロナが落ち着き、モミの木の下に大きな雪ダルマとトナカイが加わり、光り輝く日を願い待っております。



郵便はがき

郵便切手を貼ってください。

509-6195

瑞浪市上平町1丁目1番地  
瑞浪市役所 生活安全課

『ちょっといい話』係 行き

×キトリ

お名前： ( ) 歳
ご住所：〒
電話番号：
『ちょっといい話』の <b>感想</b> ・ <b>応募</b> (どちらかに○)
通信欄：

×キトリ

### 読者のみなさまへ

このたびは『ちょっといい話12』を読んでくださって、ありがとうございます。上のはがきをご利用のうえ、ぜひ、ご感想をお聞かせください。みなさまからの『ちょっといい話』のご応募もお待ちしております。



# ちよつといい話 12

令和5年2月発行

瑞浪市・瑞浪市人権施策推進ネットワーク会議  
(瑞浪市 まちづくり推進部 生活安全課)

〒509-6195 瑞浪市上平町1-1  
TEL 0572-68-2111 FAX 0572-68-2240  
<https://www.city.mizunami.lg.jp/>

この冊子は岐阜県からの助成を受けています。